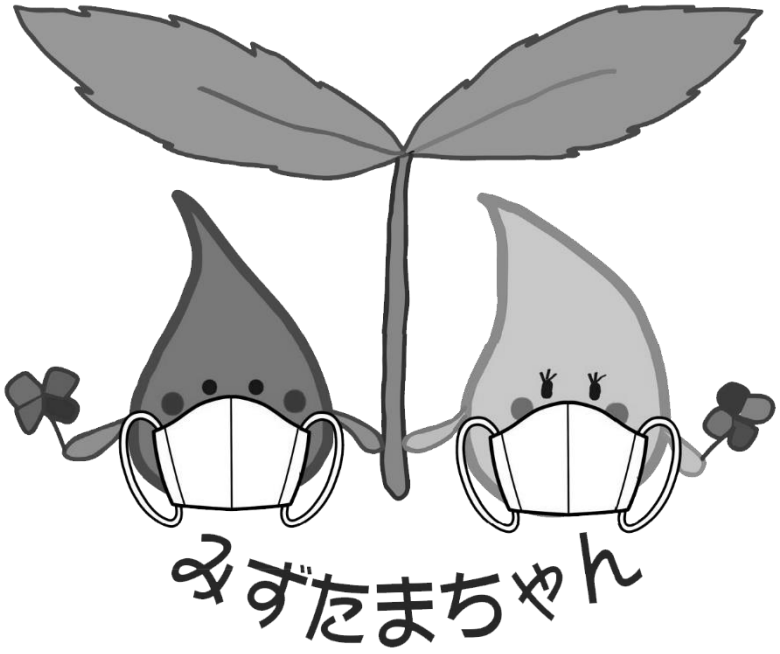
# 令和3年度
# 社会福祉法人　開成町社会福祉協議会
# 事業報告・評価・決算




社会福祉法人　開成町社会福祉協議会

# 令和3年度
# 社会福祉法人　開成町社会福祉協議会　事業報告

## はじめに

開成町社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的役割を担う団体として、昭和61年の法人化以来、一貫して住民主体による福祉コミュニティづくりに邁進してまいりました。これまでの事業成果を継承しつつ、一人ひとりの声を尊重し社会全体で支えあうことの価値を発信し、生涯にわたる生活を総合的に支えるしくみをコミュニティワークの実践をつうじて築いていくこと、住民の福祉ニーズや現場の実態把握を強化し、専門性向上に向けた研修など人材育成の充実に取り組み、事業全般を見直し、体質改善・組織改革、広域的な事業展開を具現化するための連携強化をすすめ、開成町らしさあふれる”共助”文化の創造をめざして令和3年度は次の事業・活動に取り組みましたので報告いたします。

## 目次


■事業報告　総括表　2

■事業報告

□地域福祉活動推進　部門

01 自治会福祉活動支援事業　8
02 生活支援体制整備(支えあい活動推進)事業＊町受託事業　8
03 ボランティアセンター事業　11
04 当事者活動支援　12
05 福祉教育事業　14

□相談支援・権利擁護　部門

06 相談・支援事業　16
07 権利擁護事業　17
08 地域包括支援センター事業　＊町受託事業　18

□介護・生活支援サービス　部門

09 在宅福祉サービス事業　21
10 介護保険事業　22

□法人経営　部門

11 法人マネジメント事業　24
12 広報啓発事業の充実　29
13 福祉会館管理運営事業　30

■資　料　31

# 令和3年度　社会福祉法人　開成町社会福祉協議会　事業報告総括表・評価表

【評価基準】 A:順調にできた(100%以上)　　B:概ね順調にできた(80%以上100%未満)
C:実施が低調であった(60%以上80%未満) D:実施に対して課題があり低調であった(60%未満)
---:未実施、未開催、中止等

| 事業名称 | ページNo. | 評価 | 評価の説明 | 改善策及び今後の取り組み |
|---|---|---|---|---|
| **地域福祉活動推進部門** | | | | |
| **01 自治会福祉活動の支援** | | | | |
| ① 自治会福祉活動サポート事業 | 8 | C | 本年度に限っては本事業助成金が実効性を伴って有効に活用されたとはいえないため | ・自治会域における共助活動のレベルアップと支援方策のアップデート<br>・生活支援体制整備事業との有機的連携・協働 |
| ② 自治会福祉部の育成・支援 | 8 | C | 本年度に限っては、前述理由により十分な支援ができたとはいえないため(前年同) | 上記①自治会福祉活動サポート事業及び②自治会福祉部長連絡会とリンクさせながらの新基軸に基づく支援 |
| ③ 自治会福祉部連絡会 | 8 | --- | 本年度に限っては、前述理由により十分な支援ができたとはいえないため(前年同) | 地域における新たな福祉課題の把握と新型コロナ禍における取り組みへの支援強化 |
| **02 生活支援体制整備(支えあい活動推進)事業＊町受託事業** | | | | |
| ① 生活支援体制整備業務の実施(生活支援コーディネーターの配置) | 8 | A | 地区活動のリーダー層の研修参加により、本事業や地域のコーディネーターの役割に対する理解が深められたため | ・本事業の必要性、重要性を地域住民に理解していただくための取り組み強化(継続)<br>・地域で活動するボランティアやコーディネーターの育成、支援<br>・地区担当職員との連携を密にした地域課題の発掘、地域づくり |
| ○② 地域支えあい推進会議 | 9 | A | 年2回の開催により定期的な情報交換や関係機関相互の連携強化が図れたため | 井戸端会議、分科会、支えあい推進会議(協議体)のそれぞれの機能強化 |
| ○③ 地域支えあい活動　井戸端会議 | 9 | B | 各回ごとに活発な意見が寄せられ、地域ごとの課題や状況把握につながったため | 支えあいの地域づくりの推進に向けた地域における課題の把握と情報収集 |
| ○④ 地域支えあい活動　担い手養成講座 | 10 | B | 新型コロナウイルス感染予防対策のため、開催時における意見交換を中止し、実際の活動への参加促しにつながらなかったため | 受講者の実際の活動に参加しやすいフォロー体制の充実 |
| ○⑤ お互いさま活動「ちょこボラ」 | 10 | D | 派遣回数目標が達成できなかったため | ・各地区の支え活動との連携強化と個人登録ボランティアの確保<br>・地域活動と連携したマッチング方法の確立 |
| ○⑥ 地域支えあい活動　社会資源調査・情報周知活動 | 10 | A | 支えあい協力店登録数は目標を達成、社会資源一覧(R4.2現在)を発行、PRが行えたため | ・登録店舗増に向けたPR<br>・社会資源調査による情報の更新 |
| ○⑦ 支えあい活動助成金交付 | 10 | A | 助成金交付により安定的・継続的に活動展開につながるよう支援を行えたため | ・助成金に関する情報提供のほか、主体的な活動が展開できるような支援体制の整備<br>・新たに活動立ち上げを予定する団体等へのアプローチ |
| ○⑧ 支えあい推進会議　分科会 | 10 | B | サロン分科会については新型コロナウィルス感染拡大防止のため開催を見送ったため | ・生活支援サービス等の在り方についての意識、方向性の共有<br>・団体間の情報交換、課題の共有 |
| **03 ボランティアセンター事業** | | | | |
| ○① ボランティアセンター機能の整備・強化 | | | | |
| ❶ ボランティア活動内容の把握と強化 | 11 | A | 町民活動サポートセンター開所に伴い、登録の一本化が行えたため | 町民活動サポートセンターとの連携によるボランティア活動の推進 |
| ❷ボランティアの登録促進(発掘・育成) | 11 | A | 登録者数が前年比増のため | 生活支援体制整備事業との連携による個人ボランティア登録の促進とマッチング |
| ❸ボランティアグループ等の育成(助成・支援) | 11 | A | 各団体の活動状況の把握が行えたため | ・各ボランティアグループの活動把握と支援<br>・町民活動サポートセンターとの連携による新たなグループの把握 |
| ② ボランティア講座 | 11 | --- | 新型コロナウイルス感染拡大防止対応策を踏まえ開催を見送ったため | ・受講者のフォローアップ(実際の活動とのマッチング)<br>・開催内容の検討(地域における担い手の育成、専門知識の習得など) |

| | 事業名称 | ページNo. | 評価 | 評価の説明 | 改善策及び今後の取り組み |
|---|---|---|---|---|---|
| ◎ | ③ 災害ボランティアセンターの運営 | 11 | A | 災害ボランティアセンター運営訓練の実施及び災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを整備ができたため。 | 災害ボランティアセンター運営訓練実施とマニュアルの実効性検証(改正含む) |
| ○ | ④ まちづくりサロン(町民公益活動団体交流会／町協働推進担当共催事業) | 12 | A | 町民活動サポートセンターの登録(初年度)における事業としての目的(交流・お互いを知るきっかけづくり)を達成したため | 継続的な開催、交流会の内容の検討 |
| **04 当事者活動支援** | | | | | |
| | (高齢者) | | | | |
| | ① 敬老会(開成町共催)／長寿夫妻記念品贈呈事業含む | 12 | C | 町との協議の上、敬老会は中止したが、長寿夫妻記念品贈呈事業は感染症対策を行いながら実施することができたため | ・地区敬老会との差別化を図っていくため、町担当者と調整していく。<br>・感染症対策を行いながら長寿夫妻記念品贈呈事業の実施継続。 |
| | ② ふれあい交流会(民生委員児童委員協議会共催) | 12 | --- | 新型コロナウイルス感染拡大防止対応策を踏まえ開催を見送ったため | 社協・民児協として新たな事業の開催を検討していく。まずは民児協内で事業検討会を開催する。 |
| | ③ 老人クラブ連合会の支援(事務局) | 12 | C | 職員の退職に伴い、事務局機能(後任の未選任)が低下したため。 | 連合会及び各単位クラブの主体的な活動への支援強化 |
| | (障がい児者) | | | | |
| ◎ | ① 障がい者総合相談事業 | 12 | --- | 新型コロナ禍における事業等の見送りにより、十分な支援ができたとはいえないため | 相談支援従事者養成研修受講 |
| | ② 障がい児者ネットワーク会議 | 13 | --- | 新型コロナウイルス感染拡大防止対応策を踏まえ開催を見送ったため | 障がい者を取り巻く状況変化に対応した課題の整理、共有、支援強化 |
| ◎ | ③ 障がい者週間「ともに生きる」パネル展 | 13 | B | 概ね障がい者週間に合わせた展示ができた。 | 展示パネルは神奈川県からの借用品なので、任意期間で展示できるようパネルを独自に作成する。 |
| | ④ 身体障がい者福祉協会と心身障がい児者と家族の会かるがもの支援(事務局) | 13 | B | 感染対策(対面なし)を講じた情報交換を行えた。おしゃべり会は3回実施できたため | 感染症対策を講じた活動内容の検討。 |
| | (ひとり親家庭) | | | | |
| | ① ひとり親家庭ネットワーク会議 | 13 | --- | 新型コロナウイルス感染拡大防止対応策を踏まえ開催を見送ったため | ひとり親家庭を取り巻く状況変化に対応した課題の整理、共有、支援強化 |
| | ② 開成町つくしの会の支援(事務局) | 13 | A | フードバンク実施及び会員増等、主体的な活動を支援できたため | ・主体的な活動の支援(ホームページやLINE設置による情報発信ツールの構築等)<br>・ひとり親家庭を取り巻く状況変化に対応した課題の整理、共有、支援強化 |
| | (子育て支援) | | | | |
| | ① 子育て中の親子のサロン「チビッ子らんど」 | 13 | D | それぞれの目標が未達であり、十分な支援ができたとは言えず、施設が有効に活用されなかったため | ・施設開放を通じて、子育て世帯のニーズの把握、共有、支援強化<br>・施設修繕(ひよこ広場) |
| | ② チビッ子らんどフェスタ | 14 | --- | 新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした本会としての対応策を踏まえ開催を中止したため評価なし | 多くの親子(三世代)が一堂に会する場、飲食を伴う事業等、事業の検討する。(令和4年度は開催見送り) |
| ○ | ③ 子育て支援事業関係者情報交換会 | 14 | --- | 新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした本会としての対応策を踏まえ開催を中止したため評価なし | 子育て世代を取り巻く状況変化に対応した課題の整理、共有、支援強化 |
| **05 福祉教育事業** | | | | | |
| | ① 福祉ふれあい教育推進事業への助成 | 14 | C | 各校が希望する福祉体験プログラムのコーディネート(講師派遣、連携)及び助成ができなかったため。 | ・助成金制度の周知(「福祉教育関係者連絡会」において周知)<br>・助成金活用しての福祉教育プログラムの充実 |
| | ② 小・中学生福祉作文コンクール | 14 | B | 応募総数は前回を大きく目標数を下回ってしまったが、神奈川県福祉作文コンクールにおいて入選者多数だったため。 | ・募集案内、周知強化(福祉教育関係者連絡会において行う)<br>・案内チラシ配布依頼(7月) |
| | ③ 親子ふくし一日教室 | 15 | C | 参加人数は目標に達しなかったが、新型コロナ禍において各団体等の協力を得て、オンライン開催ができたため。 | ・オンラインの開催による内容の充実<br>・開催案内、参加者募集案内周知(案内チラシ配布) |

| 事業名称 | ページNo. | 評価 | 評価の説明 | 改善策及び今後の取り組み |
|---|---|---|---|---|
| ④ 福祉教育関係者連絡会 | 15 | --- | 新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした本会としての対応策を踏まえ開催を中止したため評価なし | ・関係機関との情報交換の場としての定期開催<br>・助成金の有効活用いただくための情報提供の場としての開催<br>・表面化した意見、課題の改善にむけた取り組みの具現化 |
| ⑤ 資格取得のための学生等実習生の受入 | 15 | --- | 新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした本会としての対応策を踏まえ受け入れなかったため評価なし | ・受入プログラムの充実、受入目的（次世代育成）の職員間の共有<br>・実習指導者講習会受講者の増員 |
| **相談支援・権利擁護部門** | | | | |
| **06 相談・支援事業** | | | | |
| ① 総合生活相談 | 16 | B | 適切な助言、関係機関への連携ができたため<br>相談員研修は新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした本会としての対応策を踏まえ未開催だったため。 | ・金融機関や病院等へ相談所開設のPR強化<br>・相談員研修（民生委員児童委員協議会）の実施 |
| ◎② 生活困窮者総合相談支援 | 16 | B | 相談対応を迅速に行えた。 | ・生活困窮者自立支援における相談内容の整理と蓄積<br>・関係機関との連携と必要な情報の共有<br>・総合的な相談体制の整備と相談員の資質向上 |
| ③ 生活福祉資金の貸付（＊県社協受託事業） | 16 | A | 貸付等相談対応を迅速に行えた。 | ・生活困窮者自立支援における相談内容の整理と蓄積<br>・関係機関との連携と必要な情報の共有<br>・特例貸付の債権管理業務はパーソナルテンプスタッフが業務委託 |
| ④ 年末たすけあい援護費の支給 | 17 | A | 効果的な配分ができた。 | 配分の妥当性（使途）の検証 |
| ⑤ 災害見舞金支給 | 17 | A | 適切かつ迅速に支給でき、支給後の生活を確認できたため | 該当者への適切かつ迅速な支給 |
| ⑥ 交通遺児援護費（県社協受託事業）の支給 | 17 | --- | 該当者なし | 当面該当者なし |
| **07 権利擁護事業** | | | | |
| ① 日常生活自立支援事業（県社協受託事業） | 17 | | | ・専門員及び生活支援員の資質向上と適正な支援を行える体制整備<br>・専門員と生活支援員がそれぞれの役割を踏まえた相互牽制機能できる体制整備 |
| ② 福祉対象者把握一覧の整備・活用 | 17 | A | 年2回の更新ができ情報共有が図られたため | 対象者の同意（理解）を得て関係機関による情報の一元的な管理を行う |
| ③ 法人後見事業の調査・研究 | 17 | C | 「あしがら成年後見センター（仮称）」の設置に向けた取り組みについて、足柄上地区社会福祉協議会連絡会において情報共有、方向性の確認ができたため | ・あしがら成年後見センター（仮称）との連携、一次相談窓口としての機能強化<br>・法人後見事業の立ち上げに向けた検討・準備 |
| **08 地域包括支援センター事業 ＊町受託事業** | | | | |
| 1） 包括的支援事業 | | | | |
| ① 介護予防ケアマネジメント事業 | 18 | B | サービスを希望する軽度者の担当を包括自前で担うことができたが、第一号被保険者1人当たりの給付月額（要支援）は390円で維持できなかったため。 | ・職員体制の整備・維持<br>・町が実施するケアプラン点検に参画、サービス適正化の見極めと介護支援専門員の後方支援 |
| ② 総合相談支援事業 | 18 | A | 相談件数、巡回相談実績とも目標を達成。関係機関へのつなぎや地域住民との情報共有が図れた。 | 相談窓口体制の整備を継続し、随時相談受付に応じる。 |
| ③ 権利擁護事業 | 18 | B | 相談に対して迅速な対応をとることができた。<br>個別相談に対する説明を行うことができた。 | 一般町民や介護保険事業所（特に居宅支援事業所）への権利擁護事業の啓蒙活動を実施。行政、福祉事務所、成年後見人、社協事業等の関係機関との更なる連携強化を図ります。 |

| 事業名称 | ページNo. | 評価 | 評価の説明 | 改善策及び今後の取り組み |
|---|---|---|---|---|
| ④ 包括的・継続的ケアマネジメント事業 | 18 | B | 開催方法を検討しながら機会を設けることはできたが、後半の『ACP（人生会議）』の啓発が書面対応となってしまったため。 | ・新型コロナウィルス感染状況に左右されない開催方法の検討（zoom開催）<br>・『ACP（人生会議）』の視点を踏まえたケアプラン立案に向け、主任介護支援専門員部会を設け検討 |
| ⑤ 地域ケア会議（開成町地域ケアねっとわ～く会議） | 18 | A | ACP（人生会議）の周知や社協だよりへの記事掲載など、他事業につなぐことができたため | 地域住民とのネットワーク構築を図るため目標達成度を計る指数を「地域住民の参加人数」を加えた |
| 2） 指定予防介護支援 | 19 | A | 三職種連携のもと、他事業所からの相談対応ができたため。また、サービスを希望する軽度者の担当を包括自前で担うことができたため。 | 職員体制の整備・維持 |
| 3） 在宅医療・介護連携推進事業 | 19 | A | 医療機関や介護支援専門員からの相談が多く、情報の共有や交換が密に行うことができました。延べ相談件数1320件 | 切れ目のない支援を提供できるように包括と医療や事業所間での連絡、調整機能の充実を図る。地域ケア会議にて『看取り』をテーマにした事例検討を引き続き実施する。 |
| 4） 認知症総合支援事業 | 19 | B | 今後の「ほのぼのサロン」の在り方についてボランティアと共に検討中だが、話し合いが設けられず結論に至っていないため。 | ・ボランティアと共に今後の展開方法、開催できない期間の対応策（つながりが保てる取り組み）の検討<br>・徘徊高齢者が発生した場合の町との連携体制（役割分担）の検討 |
| 5） その他 | | | | |
| ① 介護予防・日常生活支援総合事業 | 19 | A | 地域ケアねっとわーく会議での専門多職種による地域課題検討の他、個別会議において地域住民の参加を図ることができたため | ・総合事業対象者や介護保険申請前の方への生活支援サービスの周知、充実を図りフレイルの段階から地域、町、社協と協働し介護予防に努める<br>・民生委員との情報交換会（巡回相談）を実施し地域の実情を捉える |
| ② 介護予防対象者把握事業（アンケート未回収者のフォロー） | 20 | B | 直接訪問することで拒否が少なくハイリスク者への調査内容は充実した。介護予防の取り組みが必要な方に対して提供できる資源が少なく、包括の周知にとどまる方が多かった。 | ・職員の継続雇用<br>・ほのぼのサロンや社協事業の内容検討により、介護予防を目的とした外出の場を柔軟に提供すること |
| ③ 任意事業 | 20 | B | 新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした本会としての対応策のもと、積極的な開催投げかけができずサポーター数が伸びなかったため。 | 町、社会福祉協議会と連携し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりに向けた取り組みの体系化 |
| **介護・生活支援サービス部門** | | | | |
| **09 在宅福祉サービス事業** | | | | |
| ① 福祉機器貸与事業 | 21 | B | 利用件数の目標は達成でき、モニタリングにより利用状況の確認ができたが書面でのアンケート調査ができなかったため。 | 介護ベッドの貸与については、介護保険を申請していれば民間事業所での貸与も可能となるため利用者には説明していく。いずれの品目も利用目的を丁寧に聞き取り、適切なサービス利用につなげていく。 |
| ② ふくし移送サービス | 21 | A | 新規利用登録、使用件数が増加し、利用者の移動の利便性を提供できたため | ・利用者アセスメント、モニタリングの継続<br>・燃料費高騰に伴う利用料金改正 |
| ③ 生活援助ヘルパー派遣事業<br>❶高齢・障害サービス ❷産前・産後サービス | 21 | B | 産前・産後サービスの新規登録、利用につながったため | ・アセスメント、モニタリングによる適切なサービス提供、関係機関との情報共有<br>・在宅福祉サポーターの確保、事業PR |
| ④「ふれあいサロン金曜会」 | 22 | D | 緊急事態宣言やまん延防止期間、町内の感染状況を考慮しながらの開催であったため。 | ・開催するための判断基準（直近1ヶ月の町内感染者数）を実施要項に定める<br>・サロンの存続方法、「ほのぼのサロン」「男のサロン（仮称）」の統一を検討する |
| ⑥ コミュニティバス運行 | 22 | C | 新型コロナウイルス禍において、利用者数の目標が未達だったため | ・サービスの質の維持に向けた運転員ミーティングの実施<br>・運転免許証返納者の移動手段確保<br>・感染症感染防止策の強化 |

| | 事業名称 | ﾍﾟｰｼﾞNo. | 評価 | 評価の説明 | 改善策及び今後の取り組み |
|---|---|---|---|---|---|
| **10 介護保険事業** | | | | | |
| | ① 居宅介護支援事業(ケアマネジメント)(“介護予防”居宅介護支援事業含む) | 22 | A | 目標値に対して725件(199件減)ではあったが、目標値は常勤ケアマネジャー1人増を基本とした目標値であり、年間を通じてプラン立案件数を維持することができたため。 | 新規ケースの依頼に対し可能な限り対応できるよう、事業所の体制整備を行う。また、ケアプラン点検などを活用しながらケアマネジャーの質の向上に取り組む。 |
| | ② 通所介護事業(デイサービス)(“介護予防”通所介護事業含む) | 23 | B | 身体状況の変化等による入所、逝去された利用者が多く、目標を達成できなかった。 | ・アセスメント・モニタリングの強化<br>・居宅介護支援事業所、地域包括支援センターとの連携強化<br>・サービスの質の向上と職員のスキルアップ<br>・居宅介護支援事業所への満足度調査の実施 |
| | ③ 介護保険事業利用者等意向調査 | 23 | A | 居宅:前年度と同様に比較的満足度の高い回答が得られたため。<br>通所:外部調査実施。利用者はおおむね満足されていた。 | 居宅:回答頂いたアンケートは部門で共有するとともに、年度末には数値、グラフ化し具体的な満足度の把握に取り組む<br>通所:満足度の高いサービス提供の継続　居宅介護支援事業所への調査実施 |
| **法人経営部門** | | | | | |
| **11 法人マネジメント事業** | | | | | |
| 1)諸会議の開催 | | | | | |
| | ① 理事会 | 24 | A | 発言理事数の目標は達成できていないものの、理事会への出席率は高く、毎回建設的かつ活発な議論が交わされているため。 | 自律的法人経営をめざした的確な判断と地域に開かれた組織体制の確立 |
| | ② 監事会 | 24 | A | 毎回適切に監査いただき、活発な質問や意見、指摘が表出され、都度説明を加えることにより、監査機関としての役割発揮が果たせていると考えるため。 | 新たに整備した監査マニュアルに沿った監査の実施。 |
| | ③ 評議員会 | 24 | A | 毎回活発な質問や意見が表出され、都度説明を加えることにより、議決機関としての役割発揮が果たせていると考えるため。 | 自律的法人経営をめざした的確な判断と地域に開かれた組織体制の確立 |
| | ④ 理事担当部会(総務・事業) | 25 | A | 毎回活発な質問や意見が表出され、都度説明を加えることにより、理事担当部会としての役割発揮が果たせていると考えるため。 | 自律的法人経営をめざした理事担当部会の機能強化 |
| | ⑤ トップミーティング(経営者会議) | 25 | A | 毎回活発な質問や意見が表出され、都度説明を加えることにより、経営者会議としての役割発揮が果たせていると考えるため。 | 自律的法人経営をめざしたトップミーティング(経営者会議)の機能強化(経営判断) |
| | ⑥ 評議員選任・解任委員会 | 25 | A | 社会福祉法改正に伴い必置となった手続きとして機能しているため。 | 評議員の任期満了、改選期及び選出母体側都合による任期途中の交替期に随時設置・開催 |
| | ⑦ 役員候補者選考委員会 | 26 | A | 必要な手続きとして機能しているため。 | 役員の任期満了、改選期及び選出母体側都合による任期途中の交替期に随時設置・開催 |
| | ⑧ 役員研修会 | 26 | A | 役員各位の識見向上に少なからず寄与できていると考えるため。 | 役員各位の出席率向上 |
| ○ | ⑨ 福祉コミュニティプラン(令和3－7年度)の進行管理 | 26 | B | 町と本会とが共通の理念やめざす方向性のもと、開成町らしい香り高い福祉コミュニティを育むための礎となる長期計画の進行管理が図れていると考えるため。 | 社会福祉法に定める地域福祉像の当町らしさを発揮した具現化 |
| | ⑩ 職員会議 | 26 | C | PDCAミーティングは6回開催できましたが、部門ミーティングにおいては定期開催ができなかったため。 | ・PDCAミーティングについては、事業進捗チェック機能の強化<br>・部門(福祉企画、福祉サービス)ミーティング開催検討 |
| | ⑪ 職員の資格取得促進と各種研修等への参加 | 27 | B | 各種研修を受講し職員1人が新たな資格(主任ケアマネージャー)を取得できたため。 | 職員の資質及び専門性の向上を図るための資格(国家資格、ケアマネージャー)取得 |

| 事業名称 | ページNo. | 評価 | 評価の説明 | 改善策及び今後の取り組み |
|---|---|---|---|---|
| 2)財源の確保 | | | | |
| ① 会員加入の促進と会員構成の拡充 | 27 | B | 外出機会や人との接触がままならない新型ウイルス禍中にも拘わらず、前年比減幅が最小限に抑えられたため。 | 現行の加入率57.6%を自治会加入率相当の約80%まで引き上げることを当座の目標とし(＝自治会加入世帯は100%本会会員)、最終的には町内全世帯加入をめざします。 |
| ② 寄付寄託者の拡大と福祉基金の増強 | 27 | A | 実績額が前年を大きく上回ったため。 | 寄付金についてはPRの強化及び使途の見える化に、福祉基金については避難的基金取り崩しの事態回避と積み増しの実現にそれぞれ努めます。 |
| ③ 共同募金の実施 | 28 | B | 実績額が前年を上回ったため。 | PRの強化及び使途の見える化をすすめ、前年実績増をめざします。 |
| 3)連絡調整機能の発揮 | | | | |
| ① 公私社会福祉事業関係機関・団体等との連携 | 28 | A | 関係機関、団体と連携し、各協議会等へ参画できたため。 | 今後も積極的に関係機関、団体と連携協働し、地域福祉の増進に努め、社協の存在意義を強く示す |
| ② 民生委員児童委員協議会の支援(事務局) | 28 | A | コロナ禍において通常通りの運営が困難だったが正副会長や役員を中心に会務の運営方法を検討・実施することができた。 | ・コロナ禍における民生委員児童委員活動の新たな取り組みの創出<br>・委員活動の強化(主体性の確保、研修参加、活動周知) |
| **12 広報啓発事業** | | | | |
| ① 広報紙「社協だよりかいせい」の発行 | 29 | C | 広報紙に印刷ミスが(誤植)が多かったため<br>SNS発信回数が減少したため | ・校正作業の徹底(各職員の意識向上)<br>・事業PR方法の検討(SNSの有効活用) |
| ② 社会福祉大会 | 29 | --- | 新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした本会としての対応策を踏まえ開催を見送ったため | 当町らしい共助文化を育み、創造する場面としての内容刷新(リニューアル) |
| ③ ホームページ公開・更新 | 29 | B | アクセス数の増加とリアルタイムな情報提供がっできた。SNSは投稿回数が減った。 | ・ホームページレイアウトの整理<br>・SNS投稿内容の検討 |
| ④ 地区別かいせい社協説明会 | 29 | B | ①本会概要⇒②会費納入手順の一体性・連続性を考慮しつつ、地域特性を踏まえ赴いた地区担当職員が説明できている。併せて新型ウイルス禍影響により開催地区数が前年2地区のみから本年は11地区で開催できたため。 | 会員制度含む本会の必要性の訴求 |
| **13 福祉会館管理運営事業(指定管理者)** | | | | |
| ① 福祉会館の管理・運営(指定管理者制度事業) | 29 | B | Wi-Fi環境の整備と多目的ホール床のワックス剥離(明るさの確保)ができたため | ・指定管理者として感染症対策を継続しつつ、指定管理運営事業(2/3年次)の着実な実施<br>・稼働率向上に向けた事業展開<br>・修繕必要箇所(経年劣化含む)対応と調整 |

| | 事業数 | 割合 | 前年度比 |
|---|---|---|---|
| A | **33** | 39.8% | 4.3% |
| B | **24** | 28.9% | 5.2% |
| C | **10** | 12.0% | -1.2% |
| D | **3** | 3.6% | -1.7% |
| --- | **12** | 14.5% | -7.9% |
| | **82** | 98.8% | |

**新型コロナウイルス感染拡大に影響があった(中止した)事業**

＊ 自治会福祉部連絡会
＊ ボランティア講座
＊ 開成町敬老会
＊ ふれあい交流会(民生委員児童委員協議会共催)
＊ 障がい児者ネットワーク会議
＊ ひとり親家庭ネットワーク会議
＊ チビッ子らんどフェスタ
＊ 子育て支援事業関係者情報交換
＊ 社会福祉大会
＊ 福祉教育関係者連絡会
＊ 資格取得のための学生等実習生の受入

計 11 事業　　＊前年度比 9減

# 令和3年度　社会福祉法人　開成町社会福祉協議会　事業報告

## □　地域福祉活動推進部門　□

【評価基準】 A:順調にできた(100%以上)　　B:概ね順調にできた(80%以上100%未満)
C:実施が低調であった(60%以上80%未満) D:実施に対して課題があり低調であった(60%未満)
---:未実施、未開催、中止等

### 01　自治会福祉活動支援事業

① 自治会福祉活動サポート事業の実施

| | |
|---|---|
| 内容 | 暮らしに身近な小地域(自治会エリア)において、さまざまな人々が互いにたすけあい、交流できるようにする取り組み(自治会福祉活動)が、それぞれの地区にふさわしい創意と工夫を活かしたものとして主体的かつ継続的に展開できるよう支援するために、サポート事業を実施しました(助成金の交付、地区担当職員の派遣等)。<br>具体的には、自治会福祉活動の推進に意欲的に取り組む自治会を実施主体とし、次のメュー例のうちいずれかを、地区の特性を活かしてすすめました。<br>ステップ1(基本事業)<br>①啓発活動　～　ふれあい交流活動、広報啓発活動<br>②援助活動　～　定期的訪問・見守り活動、ふれあい・いきいきサロン活動、その他<br>ステップ2(選択事業)<br>①認知症高齢者を支える活動<br>②介護予防を目的とした活動 |
| 期日 | 通年 |
| 対象地区 | ①岡　野、②金井島、③上延沢、④下延沢、⑤円　中、⑥宮　台、⑦牛　島、<br>⑧上　島、⑨河原町、⑩榎　本、⑪中家村、⑫パレットガーデン、⑬みなみ　＊計13地区 |
| 助成額 | 計1,639,000円(＊1地区上限130,000円、同平均126,000円) |
| 実績・成果 | 例年、本事業助成金を活用され、ふれあい・いきいきサロン等、自治会域においてそれぞれの地域特性を踏まえた①啓発活動と②援助活動が、自治会福祉部を中心に当町らしい取り組みとして展開されているところですが、本年度においては新型ウイルス感染拡大防止の観点から各自治会において活動そのものが軒並み中止・延期となったことにより、当事者を包み、支え、励まし、つなげる等の取り組みは全体として低空飛行だったと言わざるを得ません(前年同)。<br>ただし、そのなかにおいても、対面接触を避けつつお手紙等による安否確認と孤独感解消を意図した新たな取り組みを模索・実践されている地区も生まれつつあります(柔軟な発想による新規展開の萌芽)。 |
| 課題 | ・参加者の固定化、事業のマンネリ化からの脱却<br>・新たな福祉ニーズに着目した柔軟な事業展開視座の涵養 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・自治会域における共助活動のレベルアップと支援方策のアップデート<br>・生活支援体制整備事業との有機的連携・協働 |

② 自治会福祉部の育成・支援

| | |
|---|---|
| 内容 | 地区担当職員(福祉活動専門員)を派遣し、情報提供・助言等を行うことにより、各地区の特性に応じた福祉活動を支援しました。 |
| 期日 | 通年 |
| 職員派遣回数 | 延24回 |
| 実績・成果 | 派遣時における情報提供・助言等をつうじて、各地区の特性に応じた福祉活動が主体的・継続的に展開できるよう支援しました(コミュニティワーク実践)。 |
| 課題 | 地区担当職員の地域援助技術たるコミュニティワークのスキルアップ(情報収集、分析、提供能力) |
| 改善策及び今後の取り組み | 上記①自治会福祉活動サポート事業及び②自治会福祉部長連絡会とリンクさせながらの新基軸に基づく支援 |

③ 自治会福祉部連絡会の開催

| | |
|---|---|
| 内容 | 例年、各地区の事業進捗状況についての情報交換と今後の新たな活動展開及び課題についての意見交換等を行うために連絡会を開催していますが、本年度は前述理由により開催を見送りました(前年同)。 |
| 改善策及び今後の取り組み | 地域における新たな福祉課題の把握と新型コロナ禍における取り組みへの支援強化 |

### 02　生活支援体制整備(支えあい活動推進)事業＊町受託事業

① 生活支援体制整備業務の実施(生活支援コーディネーターの配置)

| | |
|---|---|
| 内容 | 高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能(資源開発やネットワーク構築の機能)を果たす「生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)」を配置しました。<br>また、支えあい活動のコーディネート等に関する業務、生活支援・介護予防サービスの把握等、関係機関とのネットワーク構築、ニーズとサービスのマッチングの調査を実施しました。<br>本事業の理解を深めるため、各種研修会等への参加と、住民向けの研修会を開催し、本事業の取り組み強化、新たな支援組織化が図られました。 |
| 期日 | 通年 |

| | |
|---|---|
| 実績・成果 | ①地域支援活動(地域別)<br>❶中家村地区支援　おたがいさまネット中家村支援(協議、打ち合わせ等)<br>❷円中地区支援　ちょこボラ円中ブロック立ち上げ支援(協議、打ち合わせ等)<br>❸河原町地区支援　河原町たすけあい隊支援(協議、打ち合わせ等)<br>❹上島地区支援　上島支えあい活動準備会支援(協議、打ち合わせ等)<br>❺パレットガーデン地区　地域活動調査等<br>❻牛島地区　地域活動調査等<br>❼上延沢地区　地域活動調査等<br>②研修受講<br>❶地域アセスメント研修<br>期日:9月13日㈪　参加:2人<br>❷生活支援コーディネーター養成研修(基礎コース)<br>期日:11月1日㈪～11月15日㈪＊オンデマンド配信　参加:14人<br>❸生活支援コーディネーター養成研修(応用コース)<br>期日:11月18日㈭　参加者:3人<br>④その他<br>❶自治会福祉活動(地区担当職員)との連携<br>❷地域包括支援センター業務との連携(部門ミーティング等への参画)<br>❸地域ケアねっとわーく会議への参画<br>❹足柄上地区社協生活支援コーディネーター実務者情報交換会への参画<br>❺広報活動(社協だよりへの記事掲載) |
| 課題 | ・本事業の住民への周知、説明<br>・それぞれの地区特性を生かした事業展開の支援<br>・支えあい推進会議(協議体)と生活支援コーディネーターの連携<br>・コーディネーターのスキルアップ |
| 改善策及び今後の取り組み | ・本事業の必要性、重要性を地域住民に理解していただくための取り組み強化(継続)<br>・地域で活動するボランティアやコーディネーターの育成、支援<br>・地区担当職員との連携を密にした地域課題の発掘、地域づくり |

○②　地域支えあい推進会議の開催

| | |
|---|---|
| 内容 | 第1層の生活支援コーディネーターと生活支援・介護予防サービスの多様な提供主体が参画、支えあいの地域づくり推進のための定期的な情報共有・連携強化の場として、地域課題やニーズを把握し、その対応策等を検討、多様な主体間の情報共有および連携・協働による体制整備を推進することを目的に開催しました。 |
| ❶ 期日 | 11月18日㈭　出席者数　構成員等:10人 |
| 議題 | ①生活支援体制整備事業の経過報告と今後の予定について<br>②支えあい推進会議設置要項及び生活支援支えあい活動助成金事業要項について |
| ❷ 期日 | 3月4日㈮　出席者数　構成員等:7人 |
| 議題 | ①生活支援体制整備事業の経過報告について<br>②令和4年度事業計画(案)について<br>③支えあい活動事例集(仮)の作成について |
| 課題 | 協議体の役割である地域課題の解決に向けた協議、意見の具現化・事業展開 |
| 改善策及び今後の取り組み | 井戸端会議、分科会、支えあい推進会議(協議体)のそれぞれの機能強化 |

○③　地域支えあい活動　井戸端会議の開催

| | |
|---|---|
| 内容 | 地域性を活かした住民主体の支えあい活動の支援体制(生活支援体制整備事業)が着実に進められています。その更なる構築にむけ、住民一人ひとりが支えあい活動にどのように関わり、地域づくりを進めていくのかを考え、地域にどのような支えあいがあり、どのような支えあいが必要か、などを地区別に話し合うことで地域ニーズの把握や掘り起こしを行いました。 |
| 期日 | ①　4月23日㈮　(岡野・金井島・上延沢)　出席者数　5人<br>②　4月30日㈮　(下延沢・円中・宮台・牛島)　出席者数　14人<br>③　5月14日㈮　(河原町・上島・榎本)　出席者数　4人<br>④　5月28日㈮　(中家村・下島・パレット・みなみ)　出席者数　15人 |
| 課題 | 把握した課題の整理と分科会、支えあい推進会議(協議体)との連携 |
| 改善策及び今後の取り組み | 支えあいの地域づくりの推進に向けた地域における課題の把握と情報収集 |

○④ 地域支えあい活動 担い手養成講座の開催

| | |
|---|---|
| 内容 | 地域性を活かした住民主体の支えあい活動の支援体制(生活支援体制整備事業)が着実に進められている中、住民一人ひとりが支えあい活動にどのように関わり、地域づくりを進めていくのかを考える機会とし、地域での担い手を育成する機会として地域リーダー研修会兼開成町支えあいセミナー(町企画政策課と協働)を開催しました。<br>(担い手養成講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止) |
| 期日 | 2月27日㈰ |
| 実績・成果 | 地域リーダー研修会兼開成町支えあいセミ　参加者:17人<br>講　義:「おたがいさまでやさしいまちづくり」～通いの場 編～(講師:町福祉介護課、社会福祉協議会)<br>事例報告:開成町における支えあい活動について<br>① 露木実千代氏(牛島福祉部)<br>② 瀬戸靖之氏(下島地区在住)<br>③ 小野清士氏(おたがいさまネット中家村) |
| 課題 | 地域における活動希望者の発掘と参加への促し |
| 改善策及び今後の取り組み | 受講者の実際の活動に参加しやすいフォロー体制の充実 |

○⑤ お互いさま活動「ちょこボラ」の実施

| | |
|---|---|
| 内容 | “つながり”“助け合い”“困ったときはお互いさま”をキーワードに、地域の支え合い活動の一つとして、ゴミ出し、重たい物の買い物、家具の移動などの軽微なお困りごとを解決するためのボランティア派遣(相談、登録)を行いました。 |
| 期日 | 通年 |
| 実績・成果 | 相談:　24件(前年度比 6件増)<br>登録者数:　4人(前年度比 1人増)<br>派遣件数:　39件(前年度比 9件増) |
| 課題 | 受付からボランティア派遣までのマッチングをスムーズに行うためのボランティア(担い手)の確保 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・各地区の支え活動との連携強化と個人登録ボランティアの確保<br>・地域活動と連携したマッチング方法の確立 |

○⑥ 地域支えあい活動 社会資源調査・情報周知活動

| | |
|---|---|
| 内容 | 生活支援体制整備事業の推進を目的に地域調査、社会資源に関する情報調査等を行いました。 |
| 期日 | 通年 |
| 実績・成果 | 社会資源調査・情報周知活動<br>❶支えあい協力店　登録:10店舗(累計16店舗)<br>❷つぶやき交換日記　利用:15人(不定期)　ボランティア:4人<br>❸地域アセスメント<br>❹サロンマップ(調査)<br>地域見守り協定の締結　1事業所((株)スズケン湘南営業部小田原支店) |
| 課題 | ・社会資源一覧の定期的な見直し<br>・支えあい協力店の開拓 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・登録店舗増に向けたPR<br>・社会資源調査による情報の更新 |

○⑦ 支えあい活動助成金交付

| | |
|---|---|
| 内容 | 地域住民(ボランティア等)が主体となって行う支えあい活動や高齢者等をサービスの対象とした支えあい活動を実施する団体等に対し、経費の一部を助成、活動を支援しました。 |
| 期日 | 通年 |
| 実績・成果 | ①準備資金助成:1団体<br>②運営資金助成:2団体　計3団体 120,000円 |
| 課題 | 継続して安定的な活動が行える助成金の在り方(4年次目以降の支援方策の検討) |
| 改善策及び今後の取り組み | ・助成金に関する情報提供のほか、主体的な活動が展開できるような支援体制の整備<br>・新たに活動立ち上げを予定する団体等へのアプローチ |

○⑧ 支えあい推進会議 分科会の開催

| | |
|---|---|
| 内容 | 生活支援サービスを行う団体や関係機関の代表者を対象に、町内で行われている活動に関する情報交換や、活動における課題等についての意見交換を行いました。 |
| ❶ 期日 | 7月6日㈫　出席者数　11人 |
| 議題 | ①井戸端会議から生活支援サービスに関する事例報告<br>②開成町の生活支援サービスの現状について<br>③その他 |

| | |
|---|---|
| ❷ 期日 | 12月7日㈫　　出席者数　　9人 |
| 議題 | ①開成町における生活支援サービスの取り組みについて<br>②情報交換 第2回<br>③その他 |
| 課題 | 井戸端会議で把握したニーズ、地域における課題の共有 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・生活支援サービス等の在り方についての意識、方向性の共有<br>・団体間の情報交換、課題の共有 |

## 03 ボランティアセンター事業

○① ボランティアセンター機能の整備・強化

❶ ボランティア活動内容の把握と強化

| | |
|---|---|
| 内容 | ボランティア活動に関する情報の整備、提供、相談及びボランティアの登録促進、育成等を行うことにより、ボランティアセンター拠点機能の整備、強化を図りました。 |
| 期日 | 通年 |
| 実績・成果 | 相談件数　149件<br>内訳　保険：33件、活動：48件、派遣：4件、登録：20件、助成金：10件、ちょこボラ：24件、その他：10件 |
| 課題 | ボランティア活動者（希望）の把握と派遣のマッチング<br>町民活動サポートセンターとの連携 |
| 改善策及び今後の取り組み | 町民活動サポートセンターとの連携によるボランティア活動の推進 |

❷ ボランティアの登録促進（発掘・育成）

| | |
|---|---|
| 内容 | ボランティアの発掘、育成を図り、登録促進、育成等を促進しました。 |
| 期日 | 通年 |
| 登録者数 | ①グループ　10グループ（159人）　＊計 178人<br>②個人　19人　＊前年比 10人増 |
| 実績・成果 | 開成町民活動サポートセンター利用団体等説明会（町協働推進担当共催事業）を開催し、登録を一本化し登録について整理することができました。<br>❶ 11月17日㈬　16団体　23人<br>❷ 11月23日㈫　18団体　24人 |
| 課題 | お互いさま活動「ちょこボラ」の担い手の確保（個人登録ボランティア）<br>地域における担い手の育成・支援とマッチング |
| 改善策及び今後の取り組み | 生活支援体制整備事業との連携による個人ボランティア登録の促進とマッチング |

❸ ボランティアグループ等の育成（助成・支援）

| | |
|---|---|
| 内容 | 情報提供等を行うとともに、活動費の一部を助成し、活動を支援しました。 |
| 期日 | 通年 |
| 実績・成果 | 5グループ　計134,000円（前年度比　2団体減、助成額43,000円減） |
| 課題 | ・財源の確保<br>・コロナ禍におけるボランティアグループ等の活動支援 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・各ボランティアグループの活動把握と支援<br>・町民活動サポートセンターとの連携による新たなグループの把握 |

② ボランティア講座の開催

| | |
|---|---|
| 内容 | 新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした本会としての対応策を踏まえ開催を見送りました。 |
| 課題 | 受講者のフォローアップ（実際の活動とのマッチング） |
| 改善策及び今後の取り組み | ・受講者のフォローアップ（実際の活動とのマッチング）<br>・開催内容の検討（地域における担い手の育成、専門知識の習得など） |

◎③ 災害ボランティアセンターの運営

| | |
|---|---|
| 内容 | 「足柄上地区・西湘地区の災害ボランティアセンターに関する相互支援協定書」に基づき、災害発生を想定した2市8町での相互支援訓練を行い、災害ボランティアセンターの運営能力を高めることを目的に、線状降雨帯の局地的豪雨による水辺スポーツ公園冠水を想定した机上訓練を行いました。<br>開成町災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル整備。 |
| 実績・成果 | 「足柄上地区・西湘地区の災害時災害ボランティアセンターに関する相互支援依頼書」を事前に西湘ブロック各社協へ送信し、8月26日㈭までに「足柄上地区・西湘地区の災害時災害ボランティアセンターに関する相互支援回答書」をいただく。 |
| 課題 | メール送信したが受信できていない社協もあり、FAX送受信を基本とした連絡手段が有効。 |
| 改善策及び今後の取り組み | 災害ボランティアセンター運営訓練実施とマニュアルの実効性検証（改正含む） |

○④ まちづくりサロン(町民公益活動団体交流会)の開催(町協働推進担当共催事業)

| | |
|---|---|
| 内容 | 町内で活動する町民公益活動団体等が、互いの活動について知る機会として、活動発表及び情報交換を行いました。また、町民公益活動団体等に対して、町及び社会福祉協議会からの支援内容について周知することにより活動の活性化や促進を図りました。<br>①活動報告　女性防災クラブたんぽぽ　②町民公益活動団体等への支援について　③交流会 |
| 期日 | 3月27日㈰ |
| 参加者 | 26人 |
| 実績・成果 | 町内団体による活動報告、少人数によるグループ単位での情報交換により、お互いの活動把握や情報・交流を図ることができました。 |
| 課題 | ・より多くの登録団体の参加がいただける工夫<br>・定期的な交流、情報交換の機会の確保 |
| 改善策及び今後の取り組み | 継続的な開催、交流会の内容の検討 |

## 04 当事者活動支援

### 1)高齢者関係

① 敬老会の開催(町共催事業)／長寿夫妻記念品贈呈事業含む

| | |
|---|---|
| 内容 | 「町敬老会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした本会としての対応策を踏まえ開催を見送りました。<br>結婚50年(金婚)ならびに同60年(ダイヤモンド婚)を迎えられたご夫妻へ、その長寿に敬意を表するとともに、個人ボランティアの協力による手づくりの記念品を贈呈し、その長寿を祝うことを目的として「長寿夫妻記念品贈呈事業」を実施しました。 |
| 実績・成果 | 結婚60年(ダイヤモンド婚)　4組<br>結婚50年(金婚)　4組　計8組 |
| 課題 | ・開催が可能な形式の検討(改善検討会議継続)<br>・長寿夫妻記念品贈呈事業申し込みの増 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・地区敬老会との差別化を図っていくため、町担当者と調整していく。<br>・感染症対策を行いながら長寿夫妻記念品贈呈事業の実施継続。 |

② ふれあい交流会の開催

| | |
|---|---|
| 内容 | 新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした本会としての対応策を踏まえ開催を見送りました。 |
| 課題 | ・コロナ禍において100人規模の集合形式の交流会事業の開催<br>・民児協・社協の新たな共催事業の検討 |
| 改善策及び今後の取り組み | 社協・民児協として新たな事業の開催を検討していく。まずは民児協内で事業検討会を開催する。 |

③ 老人クラブ連合会の育成・支援

| | |
|---|---|
| 内容 | 当事者の固有な課題の解決、相互援助活動の促進を図るために、活動を支援しました。 |
| 期日 | 通年 |
| 会員数 | 845人 |
| 実績・成果 | 高齢者による団体であることから役員・各会長と慎重に協議し、感染防止対策としてほとんどの事業を見送らざるを得ませんでした。<br>各地区おいては、役員等が感染症対策を行いながら会員宅へ訪問するなどつながりを継続しました。 |
| 課題 | 新型コロナ禍における事業展開 |
| 改善策及び今後の取り組み | 連合会及び各単位クラブの主体的な活動への支援強化 |

### 2)障がい児者関係

◎① 障がい者総合相談事業の実施

| | |
|---|---|
| 内容 | 相談支援従事者養成研修への参加については、抽選の結果受講できませんでした。<br>各種活動への支援については、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から概ね開催が見送られたため、具体の支援ができませんでした。 |
| 実績・成果 | なし |
| 課題 | 障がい者を取り巻く状況変化に対応した課題の整理、共有、支援強化 |
| 改善策及び今後の取り組み | 相談支援従事者養成研修受講 |

② 障がい児者ネットワーク会議の開催

| | |
|---|---|
| 内容 | 新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした本会としての対応策を踏まえ開催を見送りました。 |

| | |
|---|---|
| 課題 | ・新型コロナウイルス感染拡大後の関係機関の活動把握<br>・感染症予防対策を講じた会議の開催および情報交換 |
| 改善策及び今後の取り組み | 障がい者を取り巻く状況変化に対応した課題の整理、共有、支援強化 |

◎③ 障がい者週間「ともに生きる」パネル展の開催

| | |
|---|---|
| 内容 | 平成28年7月26日、神奈川県「津久井やまゆり園(障碍者支援施設)において19人が死亡、27人が負傷する大変痛ましい事件が発生しました。このような事件が二度と繰り返されないよう、ともに生きる社会をめざし「ともに生きる社会かながわ憲章パネル展」を開催しました。 |
| 期日 | 11月30日～12月6日 |
| 課題 | 障がい者週間に合わせ12月中に展示 |
| 改善策及び今後の取り組み | 展示パネルは神奈川県からの借用品なので、任意期間で展示できるようパネルを独自に作成する。 |

④ 身体障がい者福祉協会と心身障がい児者と家族の会かるがもの育成・支援

| | |
|---|---|
| 内容 | 当事者の固有な課題の解決、相互援助活動の促進を図るために、活動を支援しました。 |
| 期日 | 通年 |
| 実績・成果 | かるがもについては、SNS(LINE)を活用し情報交換を実施しました。<br>身障協会については、年度末にお花のプレゼントを実施しました。 |
| 課題 | 会員の高齢化。新規会員加入の方法検討。 |
| 改善策及び今後の取り組み | 感染症対策を講じた活動内容の検討。 |

**3)ひとり親家庭関係**

① ひとり親家庭ネットワーク会議の開催

| | |
|---|---|
| 内容 | ひとり親家庭の生活を支援する一環として、関係機関、団体との情報の共有化と連携強化を図り、ネットワーク化をすすめるために、ネットワーク会議を開催していますが、新型コロナウイルス感染拡大防止対応策を踏まえ開催を見送りました。 |
| 実績・成果 | 未開催 |
| 課題 | 新型コロナ禍における新たなネットワーク構築と、情報交換や相談ができる体制づくり |
| 改善策及び今後の取り組み | ひとり親家庭を取り巻く状況変化に対応した課題の整理、共有、支援強化 |

② 開成町つくしの会の育成・支援

| | |
|---|---|
| 内容 | 当事者の固有な課題の解決、相互援助活動の促進を図るために、活動を支援しました。 |
| 期日 | 通年 |
| 会員数 | 37世帯(59人) |
| 実績・成果 | ・食品提供を開始したことにより会員が増加しました。<br>・フードバンク事業は6回実施し、延べ182世帯452人へ提供しました。<br>・王将無料お子様弁当配布(8/20、27、9/3, 10、12/22、1/15, 3/30)190食提供しました。<br>・厚生労働省「ひとり親家庭等子どもの食事等支援事業」申請のための準備(zoom研修受講)を進め助成金が交付されました。<br>・上記助成金を活用したストック食品等配布事業を実施しました。(3/26　28世帯56人) |
| 課題 | 会員同士の交流ができるための工夫、会員募集方法の検討 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・主体的な活動の支援(ホームページやLINE設置による情報発信ツールの構築等)<br>・ひとり親家庭を取り巻く状況変化に対応した課題の整理、共有、支援強化 |

**4)子育て支援関係**

① 子育て中の親子のサロン「チビッ子らんど」の開放

| | | |
|---|---|---|
| 内容 | 福祉会館の一室(2F娯楽室、教養娯楽室)を事前予約制で開放し、おもちゃ図書館的な要素を加味した子育て中の親子のサロンとしてチビッ子らんどを設置し、自由に交流や情報交換ができるスペースを提供しました。<br>また、毎月第3水曜には、ぱたぱたママの協力によるおはなし会を開催しました。 | |
| 期日 | ①チビッ子らんど | 毎週火、木曜(祝日除く) |
| | ②おはなし会 | 毎月第3水曜 |
| | ③ひよこ広場 | 通年 |
| 会場 | 福祉会館 | |
| 協力 | ぱたぱたママ | |
| 参加者数 | ①チビッ子らんど | 45人(4月～7月) |
| | ②おはなし会 | 128人(8月、9月、2月は開催なし) |
| | ③ひよこ広場 | 施設の一部が老朽化しているため開放なし |

| | |
|---|---|
| 実績・成果 | ②については、事前予約、開催が浸透し、新規の利用者が増加しました。また、事前予約方法をGoogleフォームを活用し、利便性が向上できました。<br>③については実績なし |
| 課題 | ・新型コロナ禍における施設開放と感染予防対策<br>・ひよこ広場の活用に向けた整備 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・施設開放を通じて、子育て世帯のニーズの把握、共有、支援強化<br>・施設修繕（ひよこ広場） |

② チビッ子らんどフェスタの開催

| | |
|---|---|
| 内容 | 新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした本会としての対応策を踏まえ開催を見送りました。 |
| 課題 | 新型コロナ禍における開催方法の検討<br>子育て世代に向けた「子育て支援事業」の展開 |
| 改善策及び今後の取り組み | 多くの親子（三世代）が一堂に会する場、飲食を伴う事業等、事業の検討する。（令和4年度は開催見送り） |

○③ 子育て支援事業関係者情報交換会の開催

| | |
|---|---|
| 内容 | 町内の関係者がお互いの活動を把握し、相互の連携を深め情報交換会を行うことで、子どもたちの豊かな育ちを地域で支える子育てネットワークを形成するために開催を予定しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした本会としての対応策を踏まえ開催を見送りました。 |
| 課題 | 新型コロナ禍における開催方法の検討<br>新たなネットワーク構築と、情報交換や相談ができる体制づくり |
| 改善策及び今後の取り組み | 子育て世代を取り巻く状況変化に対応した課題の整理、共有、支援強化 |

## 05 福祉教育事業

① 福祉ふれあい教育推進事業への助成

| | |
|---|---|
| 内容 | 保育園、幼稚園、小、中学校、文命中学校及び吉田島高等学校が各々実施する福祉ふれあい活動に対して、講師の派遣や情報提供等を行い、活動を支援しました。（※印は交付金活用事業） |
| 期日 | 通年 |
| 協力 | おむすびころりん、手話サークルかたつむり、足柄上ろうあ福祉協会、地域包括支援センター、 |
| 助成数・金額 | 0円 |
| 実績・成果 | 吉田島高校以外でも中学校、小学校から福祉体験学習の相談を受けていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から講師派遣等はできなかった。<br>吉田島高校：　福祉科社会福祉基礎福祉体験プログラム（子育て、手話、認知症サポーター養成講座等） |
| 課題 | 助成金の交付についての周知、適正交付 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・助成金制度の周知（「福祉教育関係者連絡会」において周知）<br>・助成金活用しての福祉教育プログラムの充実 |

② 小・中学生福祉作文コンクールの実施

| | |
|---|---|
| 内容 | 作文をとおして社会連帯を基調とした福祉への理解と関心を深め、福祉活動への主体的な参加意識を育むために、小、中学校の児童、生徒を対象にコンクールを実施しました。<br>審査会（書面会議）では、小、中学生の部それぞれに優秀賞3篇（町社協会長賞、共同募金会開成町支会長賞、開成町教育長賞）、優良賞2篇、佳作5篇の計10篇を選出しました。<br>また、入選作品を文集化し、小、中学校や社会福祉大会にて配布しました。<br>なお、上位作品を神奈川県福祉作文コンクール（神奈川県共同募金会等主催）に応募したところ、次の方が入選されました。<br>小学生の部<br>最優秀賞（神奈川新聞社長賞）：小栗　行真さん（開成小4年）<br>準優秀賞：小野紗陽香さん（開成南小6年）、高杉　蒼空さん（開成小6年）、井上　心結さん（開成南小6年）<br>中学生の部<br>準優秀賞：梶谷　美結さん（文命中3年） |
| 後援 | 開成町教育委員会 |
| 協力 | 開成小学校　開成南小学校　文命中学校　開成町　老人クラブ連合会　身体障がい者福祉協会<br>地域支援センターひまわり　開成町民生委員児童委員協議会 |
| 応募数 | ①小学生の部　232編　計280編<br>②中学生の部　48編　＊239編減 |
| 実績・成果 | 第44回神奈川県福祉作文コンクールにおいて、小学生の部4人（最優秀賞①、準優秀賞③）、中学生の部1人（準優秀賞）に入選いたしました。<br>12月11日に開催された、神奈川県福祉作文コンクール表書式に出席するための送迎等配慮ができました。 |
| 課題 | ・応募者増への取り組み<br>・審査（審査委員）の負担 |

| | |
|---|---|
| 改善策及び今後の取り組み | ・募集案内、周知強化（福祉教育関係者連絡会において行う）<br>・案内チラシ配布依頼（7月） |

③ 親子ふくし一日教室の開催（オンライン開催）

| | |
|---|---|
| 内容 | 新型コロナウイルス感染症防止対策の観点から、体験学習としての開催を見合わせ、ホームページによる情報掲載を中心に、多くの子どもやその保護者の方たちが“ふくし”について考えるきっかけづくりや“ふくし”に対する理解と関心を深め、“助けあいの心・他人を思いやり共に生きていくやさしい福祉の心”を育むことを目的として「小中学生ふくしウィーク」と題して視聴開催いたしました。 |
| 期日 | 8月2日㈪～8月20日㈮ |
| 協力 | 開成小学校　開成南小学校　文命中学校　公益社団法人日本盲導犬協会　神奈川県聴覚障害者福祉センター　足柄上ろうあ福祉協会　手話サークルかたつむり　開成町地域包括支援センター　特定非営利活動法人全国視覚障害者情報提供施設協会　社会福祉法人箱根町社会福祉協議会 |
| 実績・成果 | 盲導犬オンライン講座（zoom）8月5日㈭　10：00～11：00　　9組 |
| 課題 | ・参加者増への取り組み（周知案内に余裕を持つ）<br>・情報の確保と提供方法 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・オンラインの開催による内容の充実<br>・開催案内、参加者募集案内周知（案内チラシ配布） |

④ 福祉教育関係者連絡会の開催

| | |
|---|---|
| 内容 | 新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした本会としての対応策を踏まえ開催を見送りました。 |
| 課題 | ・福祉ふれあい教育推進事業助成等の適切な説明、案内<br>・開催時期と関係者との連携 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・関係機関との情報交換の場としての定期開催<br>・助成金の有効活用いただくための情報提供の場としての開催<br>・表面化した意見、課題の改善にむけた取り組みの具現化 |

⑤ 資格取得のための学生等実習生の受入

| | |
|---|---|
| 内容 | 新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした本会としての対応策を踏まえ受入を見合わせました。 |
| 課題 | 実習受入マニュアルの作成検討（新型コロナウィルス感染対策含む） |
| 改善策及び今後の取り組み | ・受入プログラムの充実、受入目的（次世代育成）の職員間の共有<br>・実習指導者講習会受講者の増員 |

# □ 相談支援・権利擁護 部門 □

## 06 相談・支援事業

### ① 総合生活相談の実施

| | |
|---|---|
| 内容 | 住民の皆さんの日常生活上のあらゆる相談に応じ、関係機関との連携のもと、適切な助言と援助を行うことにより、福祉ニーズの問題把握から解決までの一貫した相談援助体制を確立するために、総合生活相談所を開設しました。 |
| 期日 | 1)一般相談　毎月第2、4火曜　計24回<br>2)専門相談<br>①法律　毎月最終火曜　計12回<br>②法務　毎月第3土曜　計12回<br>＊計48回 |
| 会場 | 福祉会館 |
| 協力 | 民生委員児童委員協議会、神奈川弁護士会、小田原行政書士会 |
| 実績・成果 | 1)一般相談(相談員:民生委員児童委員協議会)　2人／9回　3件<br>2)専門相談<br>①法律　(相談員:弁護士)　1人／7回　19件<br>②法務　(同　:行政書士)　2人／9回　21件<br>＊計　36件<br>①財産・相続　26件　⑤住宅　3件<br>②土地　10件　⑥権利擁護　3件<br>③法律　5件　⑦消費　2件<br>④離婚　2件　⑧その他　7件<br>＊計(重複あり)　51件<br>定期的な相談窓口を開設することにより、住民にとって相談できる窓口のある安心感につながっている。 |
| 課題 | 相談窓口のPR |
| 改善策及び今後の取り組み | ・金融機関や病院等へ相談所開設のPR強化<br>・相談員研修(民生委員児童委員協議会)の実施 |

### ② 生活困窮者総合相談支援の実施

| | |
|---|---|
| 内容 | 生活困窮者の生活全般にわたる幅広い相談の受付専門的・継続的な観点から必要な支援(サービス)や機関へつなぐ支援他の相談機関からの寄せられた内容についてチームを形成しての対応(他部門連携)いたしました。 |
| 期日 | 通年 |
| 実績・成果 | 相談件数　10件<br>貸付件数　0件<br>食料品等配布　3件 |
| 課題 | 生活困窮者自立支援における相談内容の整理と蓄積。他制度、関係機関との連携。 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・生活困窮者自立支援における相談内容の整理と蓄積<br>・関係機関との連携と必要な情報の共有<br>・総合的な相談体制の整備と相談員の資質向上 |

### ③ 生活福祉資金の貸付(＊県社協受託事業)

| | |
|---|---|
| 内容 | 低所得、障がい、高齢者世帯等の生活の安定及び修学のために必要な資金の貸付と相談指導、新型コロナ感染症特例貸付を行いました。 |
| 期日 | 随時 |
| 協力 | 民生委員児童委員協議会 |
| 相談件数 | 676件 |
| 貸付件数 | ①通常貸付　❶教育支援資金　1件<br>②特例貸付　❶緊急小口資金　30件<br>❷総合支援資金　28件<br>❸総合支援資金(延長)　8件<br>❹総合支援資金(再貸付)　2件<br>❺自立支援金受給　1件 |
| 実績・成果 | 貸付や償還の相談対応、関係機関との連携ができた。 |
| 課題 | 他制度、関係機関との連携 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・生活困窮者自立支援における相談内容の整理と蓄積<br>・関係機関との連携と必要な情報の共有<br>・特例貸付の債権管理業務はパーソナルテンプスタッフが業務委託 |

④ 年末たすけあい援護費の支給

| | |
|---|---|
| 内容 | 年末たすけあい募金(神奈川県共同募金会開成町支会主管)へ寄せられた寄付金の一部を激励金として町内2ヶ所の障がい者地域作業所へ配分しました。 |
| 期日 | 12月 |
| 配分 内訳 | ①KOMNYれんげ 93,060円<br>②合力の郷 20,000円 ＊計 113,060円 |
| 実績・成果 | 町内2ヶ所の障がい者地域作業所への配分ができた。 |
| 課題 | 配分の妥当性の検証。 |
| 改善策及び今後の取り組み | 配分の妥当性(使途)の検証 |

⑤ 災害見舞金の支給

| | |
|---|---|
| 内容 | 町民が災害等により被害を受け、罹災された世帯に対して見舞金を支給しました。 |
| 実績・成果 | 全焼1件・半焼1件 |
| 課題 | ・該当者への適切かつ迅速な支給<br>・支給後の罹災者の状況把握 |
| 改善策及び今後の取り組み | 該当者への適切かつ迅速な支給 |

⑥ 交通遺児援護費(県社協受託事業)の支給

＊今年度支給対象なし

## 07 権利擁護事業

① 日常生活自立支援事業の実施(＊県社協受託事業)

| | |
|---|---|
| 内容 | 判断能力が不十分な高齢者や障がいをお持ちの方の日常生活上の金銭管理、財産の保全及び福祉サービスの利用を支援するために、日常生活自立支援事業を受託、実施しました。 |
| 期日 | 通年 |
| 契約締結審査会 | 神奈川県社会福祉協議会設置、開催 ＊審査件数0件 |
| 契約者数 | 延13人(うち、新規2人 終了3人) |
| 支援員数 | 2人(非常勤職員1人、登録サポーター1人) |
| 相談件数 | 延499件 |
| 訪問活動件数 | 延215件 |
| 実績・成果 | 行政や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等との連携により、利用契約者が生活を送るために必要な日常生活上の金銭管理、財産の保全及び福祉サービスの利用を支援するために、必要な支援を適切に行いました。 |
| 課題 | ・利用者が抱える課題を的確に判断し、その課題解決に向けた支援が行えるような専門員の資質<br>・判断能力の低下等、本事業で対応ができなくなった利用者の成年後見制度への移行<br>・他町への転出者(施設入所者)の該当市町社協への事務移行 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・専門員及び生活支援員の資質向上と適正な支援を行える体制整備<br>・専門員と生活支援員がそれぞれの役割を踏まえた相互牽制機能できる体制整備 |

② 福祉対象者把握一覧の整備・活用

| | |
|---|---|
| 内容 | 在宅での援助を必要とする高齢者や障がいをお持ちの方等の個別状況を把握し、適切なサービス提供へつなげることとあわせて、関係機関、団体との情報の一元化を図るために、名簿を整備し活用しました。 |
| 期日 | 通年 ＊更新2回／年(9、2月) |
| 連携先 | 開成町(福祉介護課)、地域包括支援センター、民生委員児童委員協議会 |
| 実績・成果 | 各種サービス利用者、登録者の個別状況を把握、一元化して、関係機関、団体と情報の共有化ができました。①720人(9月) ②720人(2月) |
| 課題 | ・対象者が増に伴う情報管理の徹底<br>・情報の取扱いや各種サービス申込時説明が必要 |
| 改善策及び今後の取り組み | 対象者の同意(理解)を得て関係機関による情報の一元的な管理を行う |

③ 法人後見事業の調査・研究

| | |
|---|---|
| 内容 | 判断能力が不十分な高齢者や障がいをお持ちの方の権利を擁護するための法人後見事業について調査、研究しました。 |
| 期日 | 通年 |
| 連携先 | 足柄上地区社会福祉協議会連絡会 |

| | |
|---|---|
| 実績・成果 | ❶あしがら成年後見センター(仮称)の設置にかかる検討会<br>8月3日㈫　参加者:1人<br>❷あしがら成年後見センター(仮称)の設置にかかる説明会及び研修会<br>3月17日㈭　参加者:2人 |
| 課題 | 足柄上地区社会福祉協議会連絡会における広域的な取り組み |
| 改善策及び今後の取り組み | ・あしがら成年後見センター(仮称)との連携、一次相談窓口としての機能強化<br>・法人後見事業の立ち上げに向けた検討・準備 |

## 08 地域包括支援センター事業　＊町受託事業

1)包括的支援事業

① 介護予防ケアマネジメント業務

| | |
|---|---|
| 内容 | 要介護状態になるおそれのある方の介護予防プログラムや軽度者(総合事業対象者、要支援1、2の認定を受けている方)の介護予防サービスのケアプランを作成しました。 |
| プラン立案数 | ①包括分　973件　＊計　1,348件<br>②他事業者分　375件　＊前年比:133件増(包括分　151件増) |
| 実績・成果 | 三職種のほかに、プラン立案を担うプランナーの4人体制で対応、新規ケース41件のうち、包括が36件(87%)を担当しました。 |
| 課題 | ・職員体制の維持<br>・第一号被保険者1人当たり給付月額(要支援)の維持 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・職員体制の整備・維持<br>・町が実施するケアプラン点検に参画、サービス適正化の見極めと介護支援専門員の後方支援 |

② 総合相談支援事業の実施

| | |
|---|---|
| 内容 | 相談窓口体制を強化し、介護保険に関するもののほか、高齢者だけでなく同居する家族(障がいを抱えた方等)を含めた生活全般にわたる幅広い相談を受け付け、専門的、継続的な観点から関係機関と連絡・調整を図り必要なサービスや機関へつなぐ支援を行いました。 |
| 相談件数 | 延5,135件　＊前年比:467件増 |
| 実績・成果 | 相談件数の増に対し、随時対応できるよう事務所の職員体制(予定の調整)を整備しました。民生委員との地区巡回相談は3回(下島,上延沢,上島)実施し、個別ケースの情報共有や地域ならではの強みや困りごとを確認しました。<br>詳細「資料①」のとおり |
| 課題 | 多問題ケースや長期的・継続的な経過観察を求められるケースへの対応。切れ目のない相談支援を実施。 |
| 改善策及び今後の取り組み | 相談窓口体制の整備を継続し、随時相談受付に応じる。 |

③ 権利擁護業務

| | |
|---|---|
| 内容 | 高齢者が安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図り、権利擁護相談や高齢者虐待防止に取り組みました。 |
| 相談件数 | 185件　＊前年比:8件減 |
| 実績・成果 | ・虐待事例に関する相談受付や事実確認、関係者間との調整等を行いました。3件／年<br>・成年後見の周知および相談には随時対応。 |
| 課題 | 啓蒙活動を継続し、権利擁護事業についての更なる周知を図る。 |
| 改善策及び今後の取り組み | 一般町民や介護保険事業所(特に居宅支援事業所)への権利擁護事業の啓蒙活動を実施。行政、福祉事務所、成年後見人、社協事業等の関係機関との更なる連携強化を図ります。 |

④ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

| | |
|---|---|
| 内容 | 医療機関との連携や介護支援専門員への後方支援、ネットワークづくりに取り組みました。 |
| 相談件数 | 延1,003件　＊前年比:94件減 |
| 実績・成果 | 前半に『見守り確認票』周知目的に4日間開催しました。<br>後半は『ACP(人生会議)』をテーマに開催計画をしておりましたが、新型コロナウィルスの感染状況から書面会議形式に変更しました。アンケート集約結果を令和4年度につなげる計画をしています。 |
| 課題 | ・新型コロナウィルス感染状況に左右されない開催方法の検討(zoom開催)<br>・『ACP(人生会議)』の視点を踏まえたケアプラン立案に向けた啓発 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・新型コロナウィルス感染状況に左右されない開催方法の検討(zoom開催)<br>・『ACP(人生会議)』の視点を踏まえたケアプラン立案に向け、主任介護支援専門員部会を設け検討 |

⑤ 地域ケア会議(開成町地域ケアねっとわ～く会議)の開催

| | |
|---|---|
| 内容 | 個別事例に着目し地域課題の抽出を目的とした“地域ケア個別会議”と、地域の共通課題を関係者で共有し課題解決に向け、関係者間の調整、ネットワーク化、新たな資源開発、さらには施策化の形成を目的とした“地域ケアねっとわーく会議”に分け構成員にはねっとわーく会議に出席を依頼しました。 |
| 期日 | 毎月1回開催 |

| | |
|---|---|
| 会場 | 福祉会館他 |
| 協力 | 保険者／福祉介護課、小田原保健福祉事務所足柄上センタ　ー、リハビリテーション専門職、生活支援コーディネーター、居宅ケアマネージャー、民生委員、地域住民、配食サービス事業所、介護保険事業所、福祉事務所、県社協等 |
| 実績・成果 | 個別会議テーマを前期は「看取り」後期は「いきいき暮らす高齢者」に着目し意見交換および地域課題の抽出を行った。ACPの周知に関して町と協力し住民や居宅支援事業所へ向けた講座・動画研修を実施した。後期で事例検討したケースから広報紙（社協だより）に『いきいき高齢者数珠つなぎ』コーナーを設け活動や生きがい等を紹介することとした。 |
| 課題 | 町担当課との協働による総合事業の設立や政策提言機能をイメージした会議の開催 |
| 改善策及び今後の取り組み | 地域住民とのネットワーク構築を図るため目標達成度を計る指数を「地域住民の参加人数」を加えた |

2）指定予防介護支援

| | | |
|---|---|---|
| 内容 | 軽度者（総合事業対象者、要支援1、2の認定を受けている方）の介護予防サービスのケアプランを作成しました。また、公正、中立性を確保しつつ委託事業所との連携を図りました。 | |
| 期日 | 通年 | |
| 実績・成果 | ①多職種連携による取組件数（他事業所からの相談件数）<br>②ケアプラン作成数<br>詳細「資料②」のとおり | 1,003件<br>1,348件 |
| 課題 | 職員体制の整備・維持 | |
| 改善策及び今後の取り組み | 職員体制の整備・維持 | |

3）在宅医療・介護連携推進事業

| | |
|---|---|
| 内容 | 足柄上地区在宅医療・介護連携センター、あしがらケアマネージャー連絡会、関係機関との連携・調整を進め、研修参加・ネットワーク構築等の取り組みに協力しました。 |
| 期日 | 研修（随時） |
| 会場 | 足柄上センター、足柄上病院他 |
| 実績・成果 | コロナ禍により研修が少ない状況。zoom研修が提唱され新たな研修方法が見いだされました。 |
| 課題 | 疾病を抱えても、自宅等の住み慣れた場所で療養し、安心して自分らしい生活を続けられるように地域の方々や様々な団体と協力し、在宅医療と介護が連携する仕組みづくりをしていくことが課題です。 |
| 改善策及び今後の取り組み | 切れ目のない支援を提供できるように包括と医療や事業所間での連絡、調整機能の充実を図る。地域ケア会議にて『看取り』をテーマにした事例検討を引き続き実施する。 |

4）認知症総合支援事業

| | |
|---|---|
| 内容 | 町（保険者）と共に認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）に基づき、認知症になっても本人の意向が尊重され、可能な限り住み慣れた地域で生活できるよう支援体制の構築に努めました。 |
| 期日 | 通年 |
| 実績・成果 | 町（保険者）が設置し5年目の「認知症初期集中支援チーム」のチーム員として取り組みました。新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした本会としての対応策（開成町発出の「基本方針」）を踏まえつつ、ボランティアの協力を得ながら認知症カフェ「ほのぼのサロン」を10月から月2回開催しましたが、再拡大により令和4年2月から中止しています。 |
| 課題 | 認知症カフェ「ほのぼのサロン」の再開、既存のサロンとの統合等調整 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・ボランティアと共に今後の展開方法、開催できない期間の対応策（つながりが保てる取り組み）の検討<br>・徘徊高齢者が発生した場合の町との連携体制（役割分担）の検討 |

5）その他

① 介護予防・日常生活支援総合事業の実施

| | |
|---|---|
| 内容 | 高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を送れるよう、介護・福祉・健康・医療などの様々な面から多様化するニーズに対応し、生活支援・介護予防サービスが利用できるような地域づくりをめざし、町（保険者）、社会福祉協議会と共に取り組みました。 |
| 期日 | 通年 |
| 実績・成果 | 総合事業対象者数の増加により介護予防の段階から早期にサービスにつなぐことができました。生活支援体制整備事業や地域活動、社協（介護保険外サービス）との連携を構築しました。 |
| 課題 | 地域ケア会議開催による地域課題の明確化。生活支援サービスとのスムーズな連携。 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・総合事業対象者や介護保険申請前の方への生活支援サービスの周知、充実を図りフレイルの段階から地域、町、社協と協働し介護予防に努める<br>・民生委員との情報交換会（巡回相談）を実施し地域の実情を捉える |

② 介護予防対象者把握事業の実施(アンケート未回収者のフォロー)

| | |
|---|---|
| 内容 | 開成町が70歳と75歳の要介護認定未申請の方を対象に実施したアンケートから、主に訪問により健康状態や生活状況を確認し、身体機能の低下や閉じこもり等の何らかの支援を要する方を早期に発見し、要介護状態等となる事を予防するとともに、一人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みを支援し、活動的で生きがいのある生活を送る事ができるよう、必要なサービスや相談を行っていくことを目的に調査を実施しました。 |
| 相談件数 | 対象者174件(75歳ハイリスク者93件、70歳ハイリスク・活動支援対象者53件、アンケート未回収者28件)<br>延相談件数246件 |
| 実績・成果 | 調査の際、地域包括支援センターの周知、必要に応じて介護予防計画書を作成しました。生活機能の低下がある方は適宜身体状況や生活状況の確認を行い、課題整理総括表を作成。地域包括支援センターの情報として積み重ねました。 |
| 課題 | アンケート内容や抽出方法の検討。基準を合わせていくことでリスト化した際に同じ視点でみることができる。<br>把握(調査)だけでなく、介護予防事業(取り組み)の整備も共に推進していく必要性があると思われる。 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・職員の継続雇用<br>・ほのぼのサロンや社協事業の内容検討により、介護予防を目的とした外出の場を柔軟に提供すること |

③ 任意事業の実施

| | |
|---|---|
| 内容 | 新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした本会としての対応策を踏まえつつ、依頼を受けた認知症サポーター養成講座を開催、認知症について考える機会を設定できました。 |
| 実績・成果 | ❶認知症サポーター養成事業への協力<br>① 11月5日㈮　クローバー薬局・ペンギン薬局・きずな薬局<br>② 1月28日㈮　吉田島高校　生活科学科<br>参加者数　計43人<br>❷介護家族教室・介護者のつどいの開催(町共催)<br>新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした本会としての対応策を踏まえ開催を見送りました。<br>❶依頼に基づき対応。認知症について考える機会となった。<br>❷新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした本会としての対応策を踏まえ開催を中止。 |
| 課題 | 認知症に対する理解者を増やす |
| 改善策及び今後の取り組み | 町、社会福祉協議会と連携し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりに向けた取り組みの体系化 |

## 09 在宅福祉サービス事業

### ① 福祉機器貸与事業の実施

| | |
|---|---|
| 内容 | 開成町在住(在宅生活)で日常生活をおくることに支障のある高齢者や障がいをお持ちの方等に対し、必要とする福祉機器を貸与し、その在宅生活を支援しました。 |
| 期日 | 通年 |
| 利用者数 | 登録者 35人 |
| 利用件数 | ①車イス 56件(10)　④シャワーイス 36件(5)<br>②ポータブルトイレ 22件(5)<br>③介護ベッド 57件(7)　＊計 延171件<br>＊()は保有台数　＊前年比 6件増<br>R3年度、ポータブルトイレ2台、シャワーチェア1台の寄付あり |
| 実績・成果 | 利用件数の目標は達成。幅広い年代の利用者がおり社協事業としての周知が図れていると感じた。<br>毎月の集金や支払い・返却の際に利用状況のモニタリングにより利用者には満足度が確認できた。<br>倉庫内の整理を行えた。 |
| 課題 | ・介護ベッドの老朽化により貸出が難しくなる。民間事業所につなぐ必要あり。<br>・他事業と連携し、機器の利用方法、貸し出しや料金の支払い受け取りについて、簡潔で丁寧な説明を心がける。<br>・利用目的や住環境に応じて最適な方法を提案する |
| 改善策及び今後の取り組み | 介護ベッドの貸与については、介護保険を申請していれば民間事業所での貸与も可能となるため利用者には説明していく。いずれの品目も利用目的を丁寧に聞き取り、適切なサービス利用につなげていく。 |

### ② ふくし移送サービスの実施 ＊福祉有償運送対応事業

| | |
|---|---|
| 課題 | 歩行困難な高齢者や障がいをお持ちの方等(公共交通機関を利用することが困難な方)の在宅生活を支援するため、日常生活上の移動手段による利便提供として、ふくし移送サービスを実施いたしました(福祉有償運送対応事業)。 |
| 期日 | 通年 |
| 登録者数 | ①利用者　138人 ＊前年比 32人増<br>②支援者　3人(在宅福祉サポーター／ふくし移送サービス運転業務) |
| 利用件数 | 1)目的地別<br>①足柄上病院 57件　⑪森田病院 7件<br>②小田原循環器病院 29件　⑫横浜子ども医療センター 7件<br>③二宮たまご治療院 26件　⑬佐伯眼科 6件<br>④白鷗医院 23件　⑭小田原市立病院 5件<br>⑤東海大学病院大磯 19件　⑮山近記念クリニック 5件<br>⑥松元医院 19件　⑯南足柄クリニック 4件<br>⑦安藤眼科 16件　⑰岡部医院 3件<br>⑧高津クリニック 14件　⑱大熊整形外科 2件<br>⑨東海大学病院伊勢原 10件　⑲にしこおり皮膚科 1件<br>⑩西湘病院 7件　⑳その他 19件<br>＊計(重複あり) 279件<br>2)内容別<br>①通院 279件<br>②入院 0件　＊前年比 3件増 |
| 実績・成果 | 新規利用登録、使用件数が増加し、利用者の移動の利便性を提供できた。 |
| 課題 | 定期的な利用者モニタリングの実施<br>通院、入退院等目的以外の利用拡大 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・利用者アセスメント、モニタリングの継続<br>・燃料費高騰に伴う利用料金改正 |

### ③ 生活援助ヘルパー派遣事業 ❶高齢・障害サービス ❷産前・産後サービスの実施

| | |
|---|---|
| 内容 | おおむね65歳以上の高齢者のみの世帯、障がい者、子育て中の世帯等に対し、ヘルパーを派遣し軽易な日常生活上の援助を行うことにより、不安なく日常生活が送れるよう生活援助ヘルパー派遣事業を実施しました。 |
| 期日 | 通年 |
| 登録者数 | ①利用者　13人　うち新規2人<br>②支援者　3人(在宅福祉サポーター／ヘルパー) |

| | |
|---|---|
| 利用件数 | 1)派遣別<br>①高齢・障がいサービス　173件<br>②産前・産後サービス　34件　＊計　207件<br>2)内容別<br>①買い物　24件　⑤その他　0件<br>②調理指導　90件　0件<br>③清掃、整理整頓　175件　＊計(重複あり)　290件<br>④洗濯　1件　＊前年比　33件増 |
| 実績・成果 | アセスメント、モニタリングによる状況把握に努め、関係機関との連携のもとサービス提供を行い、必要時には情報共有を図ることができました。 |
| 課題 | 産前・産後サービスの利用増に向けたPR(継続) |
| 改善策及び今後の取り組み | ・アセスメント、モニタリングによる適切なサービス提供、関係機関との情報共有<br>・在宅福祉サポーターの確保、事業PR |

④ 「ふれあいサロン金曜会」の実施

| | |
|---|---|
| 内容 | 新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした本会としての対応策(開成町発出の「基本方針」)を踏まえ、開催の回数を制限しながら実施しました。また、ほのぼのサロンとの統合に向けた協議や男のサロンの立ち上げ準備を行いました。 |
| 実績・成果 | 緊急事態宣言やまん延防止期間があり、R3.10月より感染症対策を行いながら、ふれあいサロン金曜会「4回」ほのぼのサロン「8回」計12回開催することができました。(参加者:延べ74人、ボランティア:延べ63人) |
| 課題 | ・担い手(ボランティア)の確保<br>(長年協力いただいたボランティアさんが年齢や病気療養を理由に令和3年度を持って辞退された。)<br>・事業展開方法(サロンの存続方法や名称統合) |
| 改善策及び今後の取り組み | ・開催するための判断基準(直近1ヶ月の町内感染者数)を実施要項に定める<br>・サロンの存続方法、「ほのぼのサロン」「男のサロン(仮称)」の統一を検討する |

⑤ コミュニティバスの運行

| | |
|---|---|
| 内容 | 高齢化の進展に伴い、「新たな公共交通を…」との要望が多方面から出されている中、町民の利便性の向上と外出の機会とコミュニティの場を提供することを目的として町(福祉課)から運行(試行)事業を受託実施しました。また、コミュニティバスの利用者の把握や運行時の利用状況を把握しました。 |
| 期日 | 4月1日～翌年3月31日　＊月～金曜日(祝祭日、12月29日～翌年1月4日は運休) |
| 実績・成果 | 当初の目標値(利用件数)を大きく下回る延6,238人、1日平均利用者数26.0人(目標14.0人減)の利用がありました。<br>降雪(降雪予報)による運休がありましたが、利用者数は前年度比424人増となり、町民の利便性を図ることができました。<br>＊運行日数　240日　＊前年度比　2日減<br>＊運行便数　3,838便　＊前年度比　34便減<br>＊利用者数　6,238人　＊前年度比　424人増<br>＊平均(日)　26.0人　＊前年度比　2.0人増<br>＊平均(便)　1.6人　＊前年度比　0.1人増<br>詳細「資料③」のとおり |
| 課題 | ・買い物支援、外出支援目的とする社協の福祉サービスとして対応力<br>・天候不良(台風、降雪)ににおける運行(運休時の周知手段) |
| 改善策及び今後の取り組み | ・サービスの質の維持に向けた運転員ミーティングの実施<br>・運転免許証返納者の移動手段確保<br>・感染症感染防止策の強化 |

## 10 介護保険事業

① 居宅介護支援事業(ケアマネジメント)の実施(“介護予防”居宅介護支援事業を含む)

| | |
|---|---|
| 内容 | 介護保険法等関係法令に従い、利用者に対し可能な限り居宅においてその有する能力に応じて自立した日常生活を行うために必要な居宅サービスが利用できるよう「居宅サービス計画(ケアプラン)」を、また地域包括支援センターからの委託を受け、要支援の方の「介護予防サービス計画」をそれぞれ作成するとともに、当該計画に基づいて適切な居宅サービスまたは介護予防サービスの提供が確保されるよう、サービス事業者等との連絡調整及びその他の便宜を図りました。 |
| 期日 | 通年 |
| 契約者数 | ①介護　80人<br>②予防　1人<br>＊計　81人　＊前年比　8人増 |
| 利用者数 | ①介護　723人<br>②予防　2人<br>＊計　725人　＊前年比　50人増 |
| その他 | 詳細「資料④」のとおり |

| | |
|---|---|
| 実績・成果 | ケアマネジャー(兼務)を1人増員したことで、「契約者数」「利用者数」ともに増加しました。<br>年間を通じ、おおむね担当可能件数の上限まで対応しています。 |
| 課題 | 新規ケース依頼の依頼に対し、十分な対応がとれていないため事業所の体制整備が必要 |
| 改善策及び今後の取り組み | 新規ケースの依頼に対し可能な限り対応できるよう、事業所の体制整備を行う。また、ケアプラン点検などを活用しながらケアマネジャーの質の向上に取り組む。 |

② 通所介護事業(デイサービス)の実施("介護予防"通所介護事業を含む)

| | |
|---|---|
| 内容 | 介護保険法等関係法令に従い、利用者に対し可能な限り居宅で自立した日常生活を営むために、「介護」給付対象または「介護予防」給付対象となる機能訓練やレクリエーション、給食、入浴等の通所介護事業を一体的に行いました。<br>「介護」給付対象:要介護1～5、「介護予防」給付対象:要支援1～2。<br>プログラムメニューとしては、午前はタオル体操や歌、ゲームのほか、あじさい見学等の季節に応じた行事を、午後はカレンダーづくり等さまざまな作品づくりをつうじて、手指の訓練を目的とした創作活動をそれぞれ実施しました。<br>毎月1回防災訓練を実施し、スタッフ利用者ともに安全に避難することができる体制づくりを実施しました。 |
| 期日 | 毎週月～金曜(敬老の日、12月29日～翌年1月4日を除く)　＊計 254回 |
| 契約者数 | ①介護 26人　＊新規 6人<br>②総合 9人　＊終了 7人<br>＊計 35人　＊前年比 増減0 |
| 利用者数 | ①介護 2,596人<br>②総合 892人<br>＊計 3,488人　＊前年度比 98人減<br>＊1日平均 13.6人　＊前年度比 0.4人減<br>詳細「資料⑤」のとおり |
| 実績・成果 | 令和元年度末からの新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、感染予防対策として、メインルームのレイアウト変更、空気清浄機の設置、手指消毒強化など、利用者(その家族等)様の理解を得て、予防対策を強化しました。<br>新型コロナウイルス禍においても、きめ細かなサービスを提供することにより、利用者の満足度の向上、利用者家族の介護負担軽減につながりました。また、地域の居宅介護支援事業所と連携を図り利用者の増につながりました。<br>外部調査を実施し、利用者から概ねの満足をいただいています。 |
| 課題 | ・利用者個別計画作成、サービス提供、モニタリングのPDCAサイクルの確率<br>・収支バランスの維持 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・アセスメント・モニタリングの強化<br>・居宅介護支援事業所、地域包括支援センターとの連携強化<br>・サービスの質の向上と職員のスキルアップ<br>・居宅介護支援事業所への満足度調査の実施 |

③ 介護保険事業利用者等意向調査の実施

| | |
|---|---|
| 内容 | 本会が実施している介護保険事業(居宅介護支援事業、通所介護事業所)のご利用者、ご家族の意向、要望等を把握し、今後のより質の高いサービス提供、運営体制に反映していくことを目的として、契約終了時にアンケート形式による調査を行いました。 |
| 期日 | 通年 |
| 実績・成果 | 居宅:契約終了時に実施することで忌憚のない意見を寄せていただくことができました。結果を部門ミーティングで共有することにより、業務の振り返りの機会となっています。<br>通所:外部調査実施。利用者はおおむね満足されていた。 |
| 課題 | 居宅:より率直な意見を寄せていただけるようアンケート項目の見直し。<br>通所:居宅介護支援事業所の満足度。 |
| 改善策及び今後の取り組み | 居宅:回答頂いたアンケートは部門で共有するとともに、年度末には数値、グラフ化し具体的な満足度の把握に取り組む<br>通所:満足度の高いサービス提供の継続　居宅介護支援事業所への調査実施 |

# □ 法人経営 部門 □

## 11 法人マネジメント事業

### 1)諸会議の開催

① 理事会の開催

| | |
|---|---|
| 内容 | 執行機関である理事会を、福祉会館にて5回開催しました(zoom1回含む)。 |
| ❶ 期日 | 5月26日㈬ |
| 出席者数 | 理 事:12人、監 事:2人 |
| 議題 | ①令和2年度事業報告について<br>②令和2年度決算について<br>監査報告<br>③令和3年度補正予算について<br>④役員(理事・監事)及び評議員各候補者の承認について<br>⑤その他 |
| ❷ 期日 | 6月15日㈫ |
| 出席者数 | 理 事:11人、監 事:3人 |
| 議題 | ①正副会長の選任について<br>②理事担当部会の選出について<br>③会員加入の促進について<br>④その他☒ |
| ❸ 期日 | 10月8日㈮ |
| 出席者数 | 理 事:10人、監 事:2人 |
| 議題 | ①令和3年度顕彰候補者案について<br>②その他 |
| ❹ 期日 | 12月10日㈮ |
| 出席者数 | 理 事:12人、監 事:3人 |
| 議題 | ①広報紙「社協だよりかいせい」発行について<br>②役員研修会の開催について<br>③その他☒ |
| ❺ 期日 | 3月2日㈬ |
| 出席者数 | 理 事:11人、監 事:2人 |
| 議題 | ①令和3年度補正予算案について<br>②令和4年度事業計画案について<br>③令和4年度予算案について<br>④その他 |
| 発言率 | 49.1%(＊平均) |
| 実績・成果 | 役員各位から建設的かつ活発な質問や意見等が多く寄せられ、法人運営への主体的な参画意識が醸成されつつあります。 |
| 課題 | 問題意識の共有化を図り、「アイデアのゆりかご」として議論することにより、問題提起等、真の執行機関にふさわしい役割発揮をすすめます。 |
| 改善策及び今後の取り組み | 自律的法人経営をめざした的確な判断と地域に開かれた組織体制の確立 |

② 監事会の開催

| | |
|---|---|
| 内容 | 監査機関である監事会を、福祉会館にて2回開催しました。 |
| ❶ 期日 | 5月10日㈪ |
| 出席者数 | 監 事:3人 |
| 議題 | 令和2年度事業及び会計に関する決算監査 |
| ❷ 期日 | 1月21日㈮ |
| 出席者数 | 監 事:3人 |
| 議題 | 令和3年度事業及び会計に関する中間監査(第1回) |
| 実績・成果 | 中間含め年2回監査を実施することにより、定期的なチェック体制が整備されています。 |
| 課題 | 監査マニュアルの活用。 |
| 改善策及び今後の取り組み | 新たに整備した監査マニュアルに沿った監査の実施。 |

③ 評議員会の開催

| | |
|---|---|
| 内容 | 議決機関である評議員会を、福祉会館にて2回開催しました。 |
| ❶ 期日 | 6月15日㈫ |
| 出席者数 | 評議員:23人、理 事:3人、監 事:1人、来 賓:2人 |

| | |
|---|---|
| 議題 | ①令和2年度事業報告について<br>②令和2年度決算について<br>　監査報告<br>③令和3年度補正予算について<br>④役員の選任について<br>⑤その他 |
| ❷ 期日 | 3月24日㈭ |
| 出席者数 | 評議員：22人、理　事：3人、来　賓：1人 |
| 議題 | ①令和3年度補正予算案について<br>②令和4年度事業計画案について<br>③令和4年度予算案について<br>④その他 |
| 発言率 | 20.9%（＊平均） |
| 実績・成果 | 評議員各位から第三者性を有した活発な質問や意見等が寄せられ、最終議決機関にふさわしいスタイルとなりつつあります。 |
| 課題 | 発言者が固定化されるきらいがあるため、進行方法と提供資料に工夫が必要。 |
| 改善策及び今後の取り組み | 自律的法人経営をめざした的確な判断と地域に開かれた組織体制の確立 |

④ 理事担当部会（総務・事業）の開催

| | |
|---|---|
| 内容 | 理事担当部会（総務、事業）を開催しました。 |

1） 総務部会

| | |
|---|---|
| ❶ 期日 | 2月25日㈮ |
| 出席者数 | 総務部会担当理事等：5人 |
| 議題 | ①令和3年度　補正予算について<br>②令和4年度　事業計画について<br>③令和4年度　予算について |

2） 事業部会

| | |
|---|---|
| ❶ 期日 | 8月24日㈫に予定してましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした本会としての対応策を踏まえ書面会議としました。 |
| 出席者数 | 事業部会担当理事等：5人 |
| 議題 | ①敬老会の中止及び長寿夫妻記念事業の実施について<br>②チビッ子らんどフェスタについて<br>③広報紙発行について<br>④社会福祉大会について<br>⑤共同募金（街頭募金）について |
| 実績・成果 | 敬老会、社会福祉大会、チビッ子らんどフェスタ等について、役員各位が理事会とは別に本会運営について幅広くかつ率直に参画、議論できる場として機能しています。 |
| 課題 | 開催時期、回数、内容 |
| 改善策及び今後の取り組み | 自律的法人経営をめざした理事担当部会の機能強化 |

⑤ トップミーティング（経営者会議）の開催

| | |
|---|---|
| 内容 | トップマネジメント構築へ向けた合意形成を図るために、正副会長、事務局長の計4人によるミーティング（理事会開催前の事前協議等）を、福祉会館にて5回開催しました。 |
| 期日 | ①6月15日㈫　　③3月24日㈭<br>②12月3日（金）　　＊計3回 |
| 実績・成果 | 本会全体のマネジメントについて協議し、コンセンサスを得る場として機能しています。 |
| 課題 | 本会の経営、運営方針や社会的使命、将来像、戦略の立案<br>正副会長会議への負担増 |
| 改善策及び今後の取り組み | 自律的法人経営をめざしたトップミーティング（経営者会議）の機能強化（経営判断） |

⑥ 評議員選任・解任委員会の開催

| | |
|---|---|
| 内容 | 評議員の任期満了に伴い、新評議員を選任するための委員会を福祉会館にて1回開催しました。 |
| 期日 | 6月10日㈭ |
| 出席者数 | 委員：4人 |
| 議題 | ①評議員の選任について<br>②その他 |
| 実績・成果 | 民主的かつ透明性ある法人運営へ向けた必要な手続きとして機能しています。 |

| | |
|---|---|
| 課題 | 協議体として、より多種会員(団体、機関)から選出、応援いただくための工夫。 |
| 改善策及び今後の取り組み | 評議員の任期満了、改選期及び選出母体側都合による任期途中の交替期に随時設置・開催 |

⑦ 役員候補者選考委員会の開催

| | |
|---|---|
| 内容 | 役員の任期満了に伴い、新役員候補者を選考するための委員会を、評議員会に先立ち福祉会館にて2回開催(うち1回は書面決議)しました。 |
| ❶ 期日 | 4月15日㈭ |
| 出席者数 | 委員(評議員):8人 |
| 議題 | ①役員候補者の選出区分等について<br>②その他 |
| ❷ 期日 | 5月20日(木/書面による決議) |
| 意志確認者数 | 委員(評議員):8人 |
| 議題 | ①役員名簿案について<br>②その他 |
| 実績・成果 | 民主的かつ透明性ある法人運営へ向けた必要な手続きとして機能しています。 |
| 課題 | 協議体として、より多種会員(団体、機関)から選出、応援いただくための工夫。 |
| 改善策及び今後の取り組み | 役員の任期満了、改選期及び選出母体側都合による任期途中の交替期に随時設置・開催 |

⑧ 役員研修会

| | |
|---|---|
| 内容 | ①基調講演 テーマ:地域共生新時代における社協役員の経営責任と期待される役割<br>～「社協＝プラットホーム」論を中心に～<br>講 師:渡邊 朋子 さん(神奈川県社協地域福祉部長)<br>②意見交換 テーマ:現状と課題を踏まえたこれからの新たな事業展開について |
| 期日 | 1月28日㈫ |
| 会場 | 福祉会館 |
| 出席者数 | 理 事:10人、監 事:2人 |
| 出席率 | 80.0% |
| 実績・成果 | 県社協職員からのプレゼンを踏まえ、地域共生社会の実現へ向けて情報の共有化と、率直かつ建設的な意見交換ができました。 |
| 課題 | 今後の持ち方として、①内部研修(理事会以外の議論の場)と②外部研修(先進地視察)を一年ごと交互に企画、実施することにより、役員各位のさらなる資質向上に寄与したいと考えます。 |
| 改善策及び今後の取り組み | 役員各位の出席率向上 |

＊足柄上地区・西湘地区(2市8町)社協役員合同研修会は中止

○⑨ 福祉コミュニティプラン(令和3－7年度)の進行管理

| | |
|---|---|
| 内容 | 令和2年度に町と協働にて策定した開成町福祉コミュニティプラン(開成町地域福祉計画/開成町社協地域福祉活動計画)の着実な遂行と評価及び必要な補正を行うことを目的として、開成町地域福祉推進協議会を2回開催しました。 |
| 期日 | ① 1月14日(金/書面決議) ② 3月25日(金/書面決議) |
| 実績・成果 | プランの描く開成町らしい地域福祉像を訴求し、法人ミッション(使命)を達成すべく、「事業評価シート」をもとに本年度の進捗状況について、委員各位からさまざまな意見・提案をいただきました。 |
| 課題 | 計画の着実な推進・展開による基本理念・目標の達成 |
| 改善策及び今後の取り組み | 社会福祉法に定める地域福祉像の当町らしさを発揮した具現化 |

⑩ 職員会議の開催

| | |
|---|---|
| 内容 | 職員の資質、専門性の向上と情報、課題意識の共有化を図るために、職員会議を福祉会館にて開催しました。 |

1) 常勤職員ミーティング

| | |
|---|---|
| 期日 | 毎週1回 ＊会長含む |

2) PDCAミーティング(事業進捗状況のチェック機能)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 期日 | ① 5月24日㈪ | ② 7月12日㈪ | ③ 9月13日㈪ | ④ 11月15日㈪ |
| | ⑤ 1月17日㈪ | ⑥ 3月14日㈪ | 計 6回 | |

3) その他(居宅、通所、給食、包括 各部門別ミーティング)

| | |
|---|---|
| 期日 | 毎月各1回他 |
| 実績・成果 | PDCAミーティングは当初毎月開催を予定しましたが、隔月(奇数月)開催とし、専門職員間の情報、課題意識の共有化が図られまし。 |
| 課題 | コミュニティワーク含む地域福祉援助技術等専門技術のレベルアップ。 |

| | |
|---|---|
| 改善策及び今後の取り組み | ・PDCAミーティングについては、事業進捗チェック機能の強化<br>・部門(福祉企画、福祉サービス)ミーティング開催検討 |

⑪ 職員の資格取得促進と各種研修等への参加

| | |
|---|---|
| 内容 | 職員の資質、専門性の向上を図るために、神奈川県社協等主催による各種研修会、研究会に随時積極的に参加しました。 |
| 実績・成果 | 各担当業務にかかる専門知識、技術の修得がすすみました。 |
| 課題 | 体系的研修プログラムの立案と計画的な受講 |
| 改善策及び今後の取り組み | 職員の資質及び専門性の向上を図るための資格(国家資格、ケアマネージャー)取得 |

**2)財源の確保**

① 会員加入の促進と会員構成の拡充

| | |
|---|---|
| 内容 | 住民組織、公私社会福祉事業関係者をはじめ、幅広い分野からの参加を得、地域社会の総意を結集することとあわせて、社会福祉への関心の喚起、町社協への参加意識の醸成のために、一般会員(一般世帯)は全世帯加入を、一般会員(各種団体)と賛助会員は新規加入促進を各々目標に、町社協会員の募集と会費徴収を行いました。 |
| 募集月間 | 7月 |
| 加入結果 | ①一般会員(一般世帯)　4,056世帯(4,438口／加入率57.6%)<br>＊年額1口 500円～　＊前年比6世帯増<br>②同　(各種団体)　77団体(583口)<br>＊年額1口 500円～　＊前年比±0<br>③賛助会員(法人、企業等)　146社(263口)<br>＊年額1口3,000円～　＊前年比2社減 |
| 協力 | 自治会 |
| 実績・成果 | 《一般会員(世帯)》<br>対前比でみた場合、加入世帯は6世帯増となったものの、口数は逆に65口減、また加入率は分母を①全世帯とした場合は57.6%(前年比0.7ポイント減)、②自治会加入世帯とした場合は81.3%(前年比1.7ポイント増)の結果となりました。<br>ここで特筆すべき点は、近年下落傾向が続いていた加入率が僅かではありますが増加に転じたことです。新型ウイルス禍において、人と人とのふれあいや接触が制約を受けるなか、しかしこれだけの実績があげられたのは、一重に自治会関係者各位の変わらぬ温かなお力添えによるものです。<br>《一般会員(団体)及び賛助会員》<br>一般会員(団体)は対前年比同団体数、10口(5,000円)増となりました。また、賛助会員は対前年比2社14口(4,200円)減となりました。<br>今年度の場合、前年度に引き続き新型ウイルス感染拡大防止の観点から対面による企業訪問・依頼をすべて見送り、ダイレクトメールだけの対応としたにも関わらず、上記結果が得られたことは、本会への温かなエールと受け止めさせていただきたいと思います。 |
| 課題 | 《一般会員(世帯)》<br>説明責任を果たすべく開催している説明会において複数口加入の勧奨と会員・未会員の在宅福祉サービス利用料金差別化(メリット)強調の要素を加味しつつ、地域ごとの実情に応じたていねいなプレゼンテーションを行うことをとおして、共助意識の具現化・醸成を図り、本会と地域コミュニティ双方の必要性を継続的に訴求してまいります。<br>《一般会員(団体)及び賛助会員》<br>(感染症拡大前)一昨年の実績へと復活し超えることを目標に募集・依頼に努めてまいります。 |
| 改善策及び今後の取り組み | 現行の加入率57.6%を自治会加入率相当の約80%まで引き上げることを当座の目標とし(＝自治会加入世帯は100%本会会員)、最終的には町内全世帯加入をめざします。 |

② 寄付寄託者の拡大と福祉基金の増強

| | | | |
|---|---|---|---|
| 内容 | 住民の皆さんから寄せられた善意の寄付金品等を受け入れるとともに、寄付寄託者の拡大を図り、自主財源の確保に努めました。また、賛同いただいた企業や商店等に募金箱「善意の小箱」を設置させていただき、積極的に寄付金を募りました。 | | |
| 期日 | 通年 | | |
| 寄付件数 | ①寄付金 | 59件 | |
| | ②寄託品 | 35件 | |
| | ＊計 | 94件 | ＊前年比15件増 |
| 同　金額 | ①一般受付分 | 778,382円 | |
| | ②善意の小箱(＊設置協力店舗数:31店舗) | 72,405円 | |
| | ＊計 | 850,787円 | ＊前年比327,151円増 |
| 福祉基金保有額 | 72,539,454円 | | ＊前年比2,316,836円増 |

| | |
|---|---|
| 実績・成果 | 町民の皆様からお寄せいただく寄付金は、3年連続して前年比減が続いていましたが、本年度は寄付件数・金額とも前年度を大きく上回る結果となりました。定期的に寄付をお寄せいただく方がおられるいっぽう、例年にない大口寄付が数件あったことが好影響となっています。<br>お寄せいただいた寄付金のうち、上半期分は翌年度の事業費財源として即活用させていただくとともに、下半期分は福祉基金に上乗せできるよう努めています。目標比：85.1% |
| 課題 | 寄付金については、その受入結果を本会広報紙に都度掲載・報告していますが、積極的に寄付を募る等攻めの姿勢までは至っていません。本会が実施する地域福祉推進事業の貴重な財源としての活用状況含め、周知・PRに一層の工夫が必要です。<br>福祉基金については、基金と積立金の位置づけの明確化（本来趣旨と役割、整合性）と、原資取り崩しを極力抑えた法人財務体質の健全化（収支バランス均衡）が求められます。 |
| 改善策及び今後の取り組み | 寄付金についてはPRの強化及び使途の見える化に、福祉基金については避難的基金取り崩しの事態回避と積み増しの実現にそれぞれ努めます。 |

③ 共同募金の実施

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 内容 | 神奈川県共同募金会開成町支会主管による共同募金に協力しました。<br>お寄せいただいた寄付金は、①赤い羽根募金分については神奈川県共同募金会へ全額送金するとともに、②年末たすけあい募金分については一部作業所への配分を除き、翌年度の本会事業費として活用させていただきます。 | | | |
| 募金月間 | 10～12月 | | | |
| 戸別募金協力 | 各自治会 | | | |
| 街頭募金協力 | 民生委員児童委員協議会委員、KOMNY地域作業所れんげ、マックスバリュ開成店・開成駅前店 | | | |
| 募金　結果 | ①戸別募金 | 2,056,700円 | ⑤学校募金 | 89,817円 |
| | ②街頭募金 | 34,856円 | ⑥その他の募金 | 62,054円 |
| | ③法人募金 | 189,940円 | ＊計 | 2,526,642円 |
| | ④職域募金 | 93,275円 | ＊前年比52,293円増 | |
| 実績・成果 | 共同募金に寄せられる寄付金は、社協への一般寄付同様、前年を上回る結果を上げることができました。<br>新型ウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出等により（前年同）、外出機会や人との接触がままならないなか、この状況下が図らずも人と人とのつながりや思いやりの大切さを改めて浮かび上がらせてくれた結果ではないか－と考えます。目標比：90.9% | | | |
| 課題 | 国民たすけあい運動の一環として実施される共同募金は、本会を含む民間福祉活動を資金面から支えるために重要かつ不可欠であることから、引き続き「たすけあいの心の普及」を基調とした各種募金活動を積極的に展開してまいります。 | | | |
| 改善策及び今後の取り組み | PRの強化及び使途の見える化をすすめ、前年実績増をめざします。 | | | |

**3）連絡調整機能の発揮**

① 公私社会福祉事業関係機関・団体等との連携

| | |
|---|---|
| 内容 | 公私社会福祉事業関係機関、団体等と連携し、協働事業の推進を図りました。<br>なお、他機関、団体からの要請、依頼に応じ、本会役職員が着任、参画した委員会等は、次のとおりです。<br>①開成町　高齢者保健福祉事業運営協議会　委員　（事務局長）<br>②同　　高齢者及び障害者等虐待防止ネットワーク協議会　委員　（事務局長及び担当職員）<br>③同　　子ども読書活動推進委員会　委員　（担当職員）等<br>④同　　支えあい推進会議　委員　（担当職員）<br>⑤社会福祉法人風祭の森　評議員　（事務局長） |
| 期日 | 通年 |
| 連携先 | 開成町、自治会長連絡協議会、民生委員児童委員協議会、共同募金会開成町支会、NPO、近隣社協、社会福祉法人風祭の森 |
| 実績・成果 | 地域福祉推進のコーディネート役たる機能を柔軟に発揮し、関係機関、団体と連携しつつ、福祉のまちづくりをすすめました。 |
| 課題 | 地域福祉推進における本会としての明確な将来像の確立と協働事業の具体的展開。 |
| 改善策及び今後の取り組み | 今後も積極的に関係機関、団体と連携協働し、地域福祉の増進に努め、社協の存在意義を強く示す |

② 民生委員児童委員協議会の支援（事務局）

| | |
|---|---|
| 内容 | 地域福祉推進のパートナーたる同協議会の事務局として、運営および委員活動を支援しました。 |
| 期日 | 通年　＊定例会及び役員会：毎月各1回開催 |

| | |
|---|---|
| 実績・成果 | ①役員会、定例会の開催<br>②委員活動の支援及び研修会の開催(外部との調整)　＊活動日数は述べ5,453日<br>③敬老の取り組み<br>＊町敬老会の中止に伴い、「敬老の日おめでとうカード」を作成しました。75歳以上の見守り対象者へ配布し喜ばれました。<br>④事務局運営<br>平成22年度から事務局を担うことにより、両者の連携協働体制がより強化され、地域福祉活動の着実な進展が図られています。生活福祉資金(教育支援資金)貸付事業における担当民生委員及び会長から調査事務、平成24年度から受託した地域包括支援センター事業においても各地区の民生委員児童委員との連携が発揮され、住民の安心に寄与できています。 |
| 課題 | ・予算措置なし(民児協より事務用品購入等一部負担あり)<br>・新型コロナ禍における活動の制限 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・コロナ禍における民生委員児童委員活動の新たな取り組みの創出<br>・委員活動の強化(主体性の確保、研修参加、活動周知) |

## 12　広報啓発事業の充実

① 広報紙「社協だよりかいせい」の発行

| | |
|---|---|
| 内容 | 本会の活動、事業のPRと福祉情報の提供、福祉意識の啓発、醸成のために広報紙を発行し、町内全世帯、賛助会員及び関係機関等へ配布しました(自主財源確保の一環として紙面への広告掲載含む)。 |
| 発行日 | ①　5月1日　　④　12月1日<br>②　7月1日　　⑤　1月1日<br>③　9月1日　　⑥　3月1日　　＊計6回 |
| 印刷部数 | 5,700部(7月のみ5,950部) |
| 納品部数 | 5,350部 |
| 実績・成果 | 広報紙に誤植が目立った。新型コロナウイルスまん延の影響がありSNSの発信回数の減少(10回・前年度37回)。モニタリング未実施。グーグルフォーム活用による参加申し込みを実施。 |
| 課題 | ・モニタリングの実施とSNSの活用<br>・新たな配布方法による課題の整理 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・校正作業の徹底(各職員の意識向上)<br>・事業PR方法の検討(SNSの有効活用) |

② 社会福祉大会の開催

| | |
|---|---|
| 内容 | 新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした本会としての対応策を踏まえ開催は中止としましたが、顕彰の場面(代替策)として別途「社会福祉功労表彰・感謝贈呈式」を開催しました。 |
| 期日 | 11月24日㈬ |
| 会場 | 福祉会館 |
| 参加者数 | 10人(顕彰者) |
| 課題 | ・式典へのアクセント要素の付加<br>・大会運営(在り方)の見直し、新たな企画による内容刷新、再構築 |
| 改善策及び今後の取り組み | 当町らしい共助文化を育み、創造する場面としての内容刷新(リニューアル) |

③ ホームページの公開・更新

| | |
|---|---|
| 内容 | 本会の活動、事業のPRと福祉情報の提供、福祉意識の啓発、醸成のためにホームページを公開、更新しました(福祉会館各部屋の予約状況公開含む)。 |
| 実績・成果 | アクセス数27,730回(957回増)・SNS投稿10回(27回減)。 |
| 課題 | ホームページレイアウトの整理 |
| 改善策及び今後の取り組み | ・ホームページレイアウトの整理<br>・SNS投稿内容の検討 |

④ 地区別かいせい社協説明会の開催(会員加入の促進とのリンク)

| | |
|---|---|
| 内容 | 7月の会員加入強化月間に先立ち、地区担当職員が当該地区で行われる組長会議へ赴き、①本会の事業概要と②会員制度、会費納入の各説明(プレゼンテーション)を、自治会役員と組長の皆様を対象に行いました(説明責任の遂行と共助意識の具現化促進目的)。 |
| 期日 | ①　4月11日(日／牛　島)　　⑦　5月16日(日／金井島、河原町、榎　本)<br>②　4月18日(日／上延沢)　　⑩　5月23日(日／パレットガーデン)<br>③　5月　8日(土／円　中)　　⑪　6月13日(日／みなみ)<br>④　5月15日(土／岡　野、下延沢、宮　台)　　＊計11回　他3地区は書面による代替え |
| 会場 | 当該地区の自治会館等集会施設 |
| 参加者数 | 延243人(1地区平均22.1人) |

| | |
|---|---|
| 実績・成果 | 会費納入にあたりご支援を仰ぐ自治会役員と組長の皆様へ、説明責任遂行を目的として毎年度定例的に開催することにより、本会への継続的な理解促進が少なからず図れています。<br>会員加入世帯／自治会加入世帯：81.3% |
| 課題 | ・より分かりやすいプレゼンテーションの工夫（見える化）<br>・子育て支援事業紹介等による若年層への訴求 |
| 改善策及び今後の取り組み | 会員制度含む本会の必要性の訴求 |

**13 福祉会館管理運営事業**

| | | | |
|---|---|---|---|
| ① 福祉会館の管理・運営（＊指定管理者制度事業） | | | |
| 内容 | 福祉会館の施設、設備の維持、管理並びに利用に伴う運営を行いました。また、利用案内等を広報紙に随時掲載し広くPRに努めるとともに、開成町とも連携を密にし施設利用の充実を図りました（本会ホームページ上にて福祉会館各部屋の予約状況公開含む）。 | | |
| 期日 | 通年 | | |
| 利用時間数 | 3,734時間 | ＊前年比 1,580時間 増 | |
| 施設稼働率 | 15.5% | ＊同年比 6.2% 増 | （楽屋、控室、ボランティア室を除く） |
| 利用回数 | 1,358回 | ＊同年比 551回 増 | |
| 同 者数 | 14,358人 | ＊同年比 6,373人 増 | |
| その他 | 詳細「資料⑥」のとおり | | |
| 実績・成果 | 新型コロナウイルスまん延による一部閉館、利用制限あり。 | | |
| 課題 | ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い利用団体が減少している（zoomなど新たな生活習慣の定着）<br>・利用件数、利用人数、稼働率アップ | | |
| 改善策及び今後の取り組み | ・指定管理者として感染症対策を継続しつつ、指定管理運営事業（2/3年次）の着実な実施<br>・稼働率向上に向けた事業展開<br>・修繕必要箇所（経年劣化含む）対応と調整 | | |

〔資料①〕

# 令和3年度　開成町地域包括支援センター　総合相談の把握経路別件数《年間トータル》

令和4年3月31日現在
相談総数　5,135件
※令和2年度　4,668件

| 相談区分／相談者区分 網掛は延件数 | 合計 | | 本人 | | 家族同居 | | 家族別居 町内 | | 家族別居 町外 | | 近隣者 | | 友人 知人 | | ｹｱﾏﾈｰｼﾞｬｰ | | 保健福祉 主管課 | | 保健福祉 事務所 | | 医療機関 | | 介護保険 施設 | | 社会福祉 協議会 | | 民間 事業者 | | 民生委員 | | その他 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | 5,108 | 5,135 | 1,197 | 1,205 | 398 | 404 | 100 | 100 | 266 | 268 | 44 | 44 | 39 | 39 | 1,001 | 1,003 | 946 | 950 | 5 | 5 | 263 | 264 | 23 | 23 | 70 | 70 | 351 | 354 | 375 | 375 | 30 | 31 |
| 介護・日常生活に関する相談 | 3,903 | 3,928 | 826 | 833 | 304 | 310 | 72 | 72 | 195 | 197 | 33 | 33 | 36 | 36 | 813 | 815 | 817 | 821 | 4 | 4 | 186 | 187 | 15 | 15 | 37 | 37 | 243 | 245 | 303 | 303 | 19 | 20 |
| ｻｰﾋﾞｽの利用に関する相談 | 680 | 681 | 244 | 244 | 44 | 44 | 14 | 14 | 42 | 42 | 7 | 7 | 0 | 0 | 97 | 97 | 60 | 60 | 1 | 1 | 25 | 25 | 5 | 5 | 21 | 21 | 85 | 86 | 34 | 34 | 1 | 1 |
| 医療に関する相談 | 269 | 269 | 71 | 71 | 31 | 31 | 7 | 7 | 20 | 20 | 2 | 2 | 2 | 2 | 39 | 39 | 23 | 23 | 0 | 0 | 38 | 38 | 0 | 0 | 1 | 1 | 13 | 13 | 20 | 20 | 2 | 2 |
| 所得・家庭生活に関する相談 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 56 | 56 | 18 | 18 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 17 | 17 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 | 12 | 5 | 5 |
| 苦情相談 | 14 | 14 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 2 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 権利擁護に関する相談 | 184 | 185 | 38 | 39 | 18 | 18 | 7 | 7 | 8 | 8 | 1 | 1 | 1 | 1 | 45 | 45 | 27 | 27 | 0 | 0 | 13 | 13 | 2 | 2 | 8 | 8 | 8 | 8 | 6 | 6 | 2 | 2 |

※参考　月次相談件数

| | |
|---|---|
| 4月 | 519 |
| 5月 | 412 |
| 6月 | 497 |
| 7月 | 358 |
| 8月 | 375 |
| 9月 | 333 |
| 10月 | 352 |
| 11月 | 381 |
| 12月 | 419 |
| 1月 | 450 |
| 2月 | 520 |
| 3月 | 519 |
| 合計 | 5,135 |

〔資料②〕

令和3年度

地域包括支援センター　介護予防支援事業　給付管理一覧表

| | 国保連請求総額 | 地域包括支援センター純利益 | | | | | | | | | | 委託事業所 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 地域包括支援センター分 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 介護予防 | | | 総合事業 | | | | 他事業所担当分 | | 介護予防 | | | | 総合事業 | | | |
| | | | | 要支援1 | 要支援2 | 初回加算 | 事業対象者 | 要支援1 | 要支援2 | 初回加算 | | | 要支援1 | 要支援2 | 初回加算 | 委託連携加算介護予防支援 | 要支援1 | 要支援2 | 初回加算 | 委託連携加算介護予防支援 |
| | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) |
| 4月 | 509,460 | 367,680 | 360,200 | 25 | 33 | 3 | 4 | 7 | 11 | 0 | 7,480 | 141,780 | 9 | 15 | 0 | 0 | 5 | 5 | 0 | 0 |
| 5月 | 484,510 | 355,240 | 348,420 | 24 | 34 | 1 | 5 | 6 | 9 | 1 | 6,820 | 129,270 | 8 | 13 | 0 | 0 | 5 | 5 | 0 | 0 |
| 6月 | 517,070 | 368,060 | 360,200 | 22 | 34 | 1 | 6 | 7 | 11 | 2 | 7,860 | 149,010 | 9 | 14 | 2 | 2 | 5 | 5 | 0 | 0 |
| 7月 | 519,850 | 380,710 | 373,370 | 20 | 37 | 2 | 6 | 8 | 12 | 1 | 7,340 | 139,140 | 8 | 14 | 0 | 0 | 6 | 4 | 1 | 1 |
| 8月 | 546,410 | 417,140 | 410,320 | 21 | 35 | 2 | 9 | 7 | 16 | 6 | 6,820 | 129,270 | 7 | 14 | 0 | 0 | 6 | 4 | 0 | 0 |
| 9月 | 534,410 | 398,270 | 390,930 | 21 | 35 | 1 | 8 | 7 | 16 | 2 | 7,340 | 136,140 | 9 | 14 | 1 | 0 | 5 | 4 | 0 | 0 |
| 10月 | 514,080 | 378,228 | 370,920 | 19 | 34 | 0 | 10 | 6 | 15 | 1 | 7,308 | 135,852 | 8 | 14 | 1 | 0 | 6 | 4 | 0 | 0 |
| 11月 | 523,080 | 389,928 | 382,920 | 18 | 33 | 2 | 11 | 5 | 17 | 3 | 7,008 | 133,152 | 9 | 13 | 0 | 0 | 6 | 4 | 0 | 0 |
| 12月 | 487,800 | 367,131 | 360,780 | 18 | 34 | 2 | 8 | 5 | 16 | 0 | 6,351 | 120,669 | 8 | 12 | 0 | 0 | 6 | 3 | 0 | 0 |
| 1月 | 484,800 | 359,970 | 353,400 | 20 | 35 | 1 | 7 | 4 | 14 | 0 | 6,570 | 124,830 | 8 | 12 | 0 | 0 | 6 | 4 | 0 | 0 |
| 2月 | 465,900 | 341,070 | 334,500 | 19 | 34 | 2 | 7 | 3 | 12 | 0 | 6,570 | 124,830 | 8 | 12 | 0 | 0 | 6 | 4 | 0 | 0 |
| 3月 | 455,760 | 335,091 | 328,740 | 17 | 34 | 2 | 7 | 4 | 11 | 1 | 6,351 | 120,669 | 7 | 12 | 0 | 0 | 6 | 4 | 0 | 0 |
| 合計 | 6,043,130 | 4,458,518 | 4,374,700 | 244 | 412 | 19 | 88 | 69 | 160 | 17 | 83,818 | 1,584,612 | 98 | 159 | 4 | 2 | 68 | 50 | 1 | 1 |

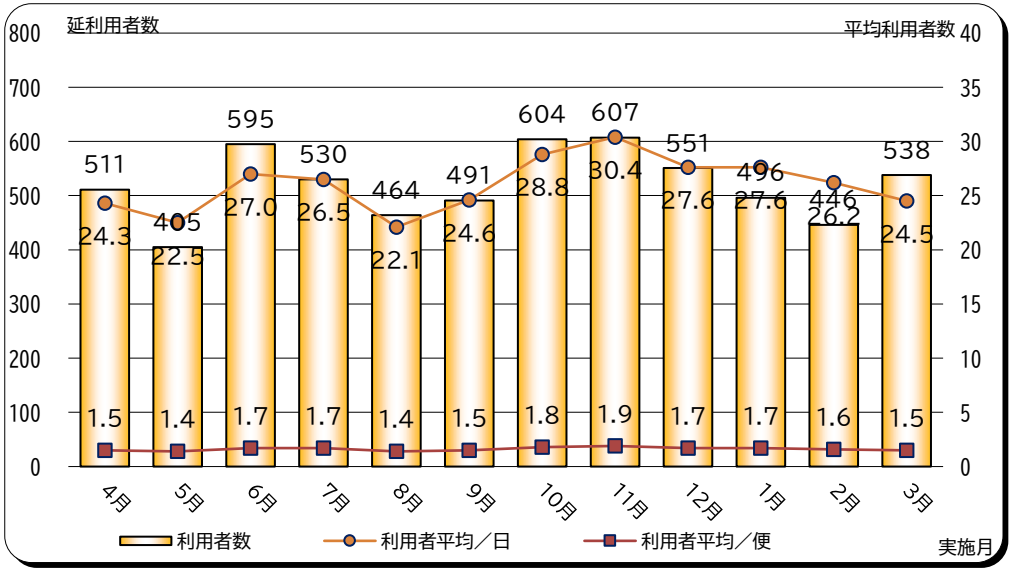
〔資料③〕

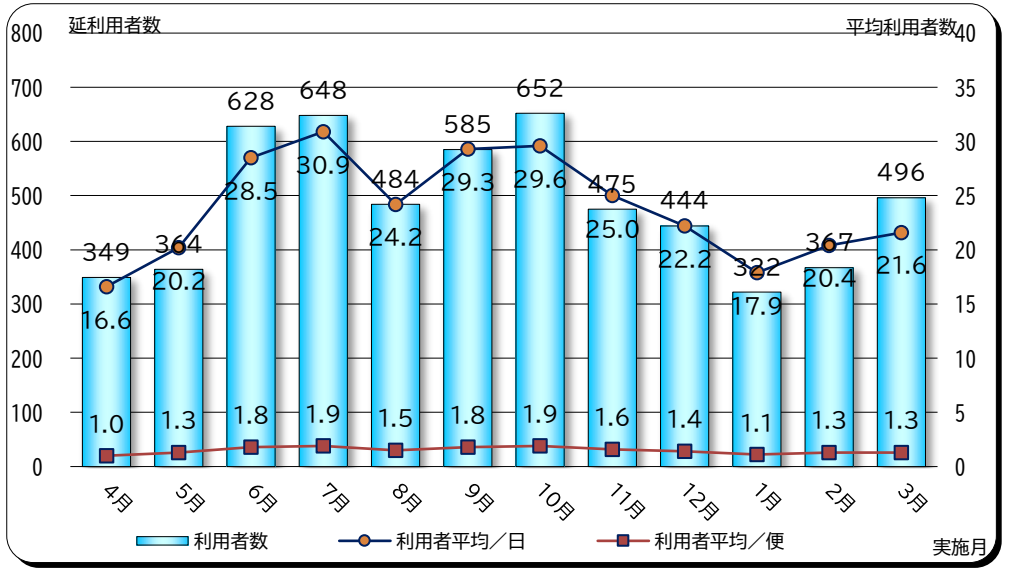
## 令和3年度開成町福祉コミュニティバスバス運行業務《実績集計表＆グラフ》

| | 運行日数 | 運行便数 | 利用者数 | | | | | 利用者平均／日 | 利用者平均／便 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 南北線南行き | 南北線北行き | 巡回線西回り | 巡回線東回り | 計 | | |
| 4月 | 21 | 336 | 99 | 74 | 166 | 172 | 511 | 24.3 | 1.5 |
| 5月 | 18 | 288 | 78 | 63 | 127 | 137 | 405 | 22.5 | 1.4 |
| 6月 | 22 | 352 | 155 | 86 | 155 | 199 | 595 | 27.0 | 1.7 |
| 7月 | 20 | 320 | 119 | 74 | 145 | 192 | 530 | 26.5 | 1.7 |
| 8月 | 21 | 336 | 110 | 71 | 147 | 136 | 464 | 22.1 | 1.4 |
| 9月 | 20 | 320 | 111 | 67 | 149 | 164 | 491 | 24.6 | 1.5 |
| 10月 | 21 | 336 | 107 | 108 | 175 | 214 | 604 | 28.8 | 1.8 |
| 11月 | 20 | 320 | 131 | 91 | 186 | 199 | 607 | 30.4 | 1.9 |
| 12月 | 20 | 320 | 134 | 104 | 149 | 164 | 551 | 27.6 | 1.7 |
| 1月 | 18 | 286 | 111 | 83 | 165 | 137 | 496 | 27.6 | 1.7 |
| 2月 | 17 | 272 | 106 | 89 | 119 | 132 | 446 | 26.2 | 1.6 |
| 3月 | 22 | 352 | 123 | 105 | 162 | 148 | 538 | 24.5 | 1.5 |
| 合計 | 240 | 3,838 | 1,384 | 1,015 | 1,845 | 1,994 | 6,238 | 26.0 | 1.6 |
| 同時期比較 | -2 | -34 | 47 | 0 | 154 | 223 | 424 | 2.0 | 0.1 |

## 令和2年度開成町福祉コミュニティバスバス運行業務《実績集計表＆グラフ》

| | 運行日数 | 運行便数 | 利用者数 | | | | | 利用者平均／日 | 利用者平均／便 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 南北線南行き | 南北線北行き | 巡回線西回り | 巡回線東回り | 計 | | |
| 4月 | 21 | 336 | 78 | 62 | 101 | 108 | 349 | 16.6 | 1.0 |
| 5月 | 18 | 288 | 91 | 76 | 116 | 81 | 364 | 20.2 | 1.3 |
| 6月 | 22 | 352 | 152 | 123 | 182 | 171 | 628 | 28.5 | 1.8 |
| 7月 | 21 | 336 | 163 | 111 | 162 | 212 | 648 | 30.9 | 1.9 |
| 8月 | 20 | 320 | 110 | 94 | 125 | 155 | 484 | 24.2 | 1.5 |
| 9月 | 20 | 320 | 126 | 96 | 167 | 196 | 585 | 29.3 | 1.8 |
| 10月 | 22 | 352 | 138 | 109 | 185 | 220 | 652 | 29.6 | 1.9 |
| 11月 | 19 | 304 | 96 | 68 | 150 | 161 | 475 | 25.0 | 1.6 |
| 12月 | 20 | 320 | 104 | 83 | 138 | 119 | 444 | 22.2 | 1.4 |
| 1月 | 18 | 288 | 64 | 57 | 107 | 94 | 322 | 17.9 | 1.1 |
| 2月 | 18 | 288 | 98 | 63 | 96 | 110 | 367 | 20.4 | 1.3 |
| 3月 | 23 | 368 | 117 | 73 | 162 | 144 | 496 | 21.6 | 1.3 |
| 合計 | 242 | 3,872 | 1,337 | 1,015 | 1,691 | 1,771 | 5,814 | 24.0 | 1.5 |



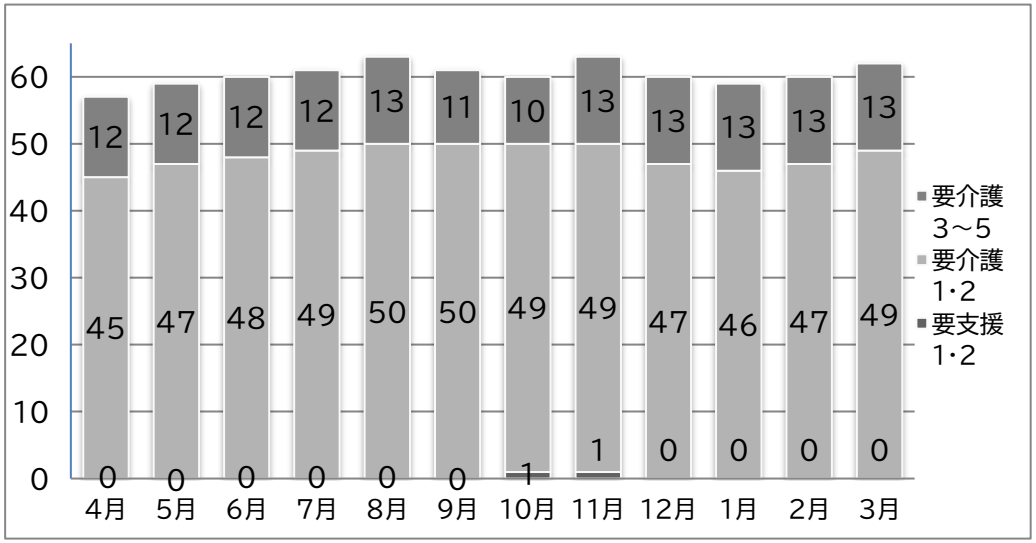
## 居宅介護支援事業

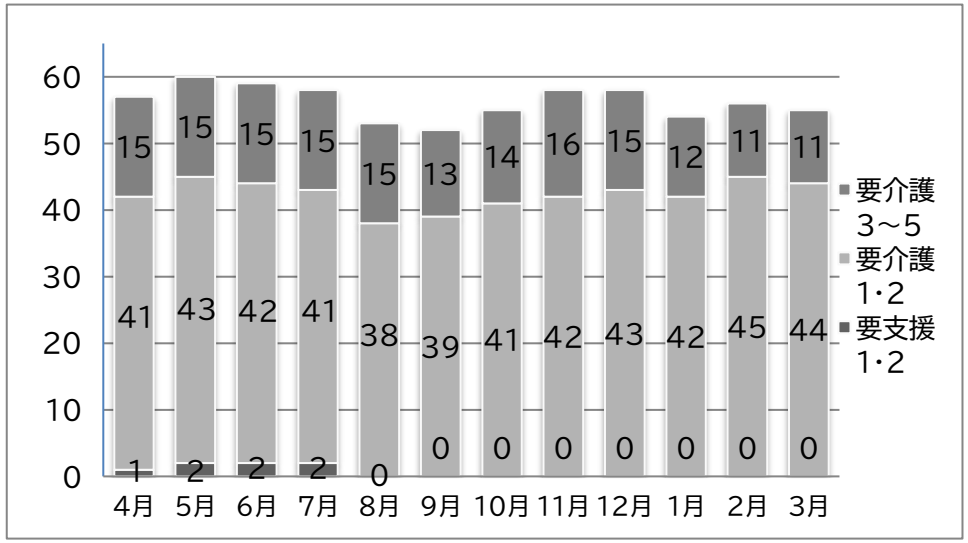
令和3年度

| | プラン立案状況 | | | | 加算の状況 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要支援1･2 | 要介護1･2 | 要介護3～5 | 計 | 初回加算 | 通院時情報連携 | 入院時連携Ⅰ | 入院時連携Ⅱ | 退院･退所① | | 退院･退所② | | 退院･退所③ |
| | | | | | | | | | ｶﾝﾌｧ無 | ｶﾝﾌｧ有 | ｶﾝﾌｧ無 | ｶﾝﾌｧ有 | ｶﾝﾌｧ有 |
| 4月 | 0 | 45 | 12 | 57 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5月 | 0 | 47 | 12 | 59 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6月 | 0 | 48 | 12 | 60 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 7月 | 0 | 49 | 12 | 61 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 8月 | 0 | 50 | 13 | 63 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 9月 | 0 | 50 | 11 | 61 | 3 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 10月 | 1 | 49 | 10 | 60 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 11月 | 1 | 49 | 13 | 63 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 12月 | 0 | 47 | 13 | 60 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1月 | 0 | 46 | 13 | 59 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2月 | 0 | 47 | 13 | 60 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 3月 | 0 | 49 | 13 | 62 | 2 | 3 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 2 | 576 | 147 | 725 | 23 | 5 | 13 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 |

令和2年度

| | プラン立案状況 | | | | 加算の状況 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要支援1･2 | 要介護1･2 | 要介護3～5 | 計 | 初回加算 | 入院時連携Ⅰ | 入院時連携Ⅱ | 退院･退所① | | 退院･退所② | | 退院･退所③ | |
| | | | | | | | | ｶﾝﾌｧ無 | ｶﾝﾌｧ有 | ｶﾝﾌｧ無 | ｶﾝﾌｧ有 | ｶﾝﾌｧ有 | |
| 4月 | 1 | 41 | 15 | 57 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5月 | 2 | 43 | 15 | 60 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6月 | 2 | 42 | 15 | 59 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 7月 | 2 | 41 | 15 | 58 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8月 | 0 | 38 | 15 | 53 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 9月 | 0 | 39 | 13 | 52 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 10月 | 0 | 41 | 14 | 55 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 11月 | 0 | 42 | 16 | 58 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 12月 | 0 | 43 | 15 | 58 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1月 | 0 | 42 | 12 | 54 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2月 | 0 | 45 | 11 | 56 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3月 | 0 | 44 | 11 | 55 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 7 | 501 | 167 | 675 | 10 | 2 | 2 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | |



〔資料⑤〕

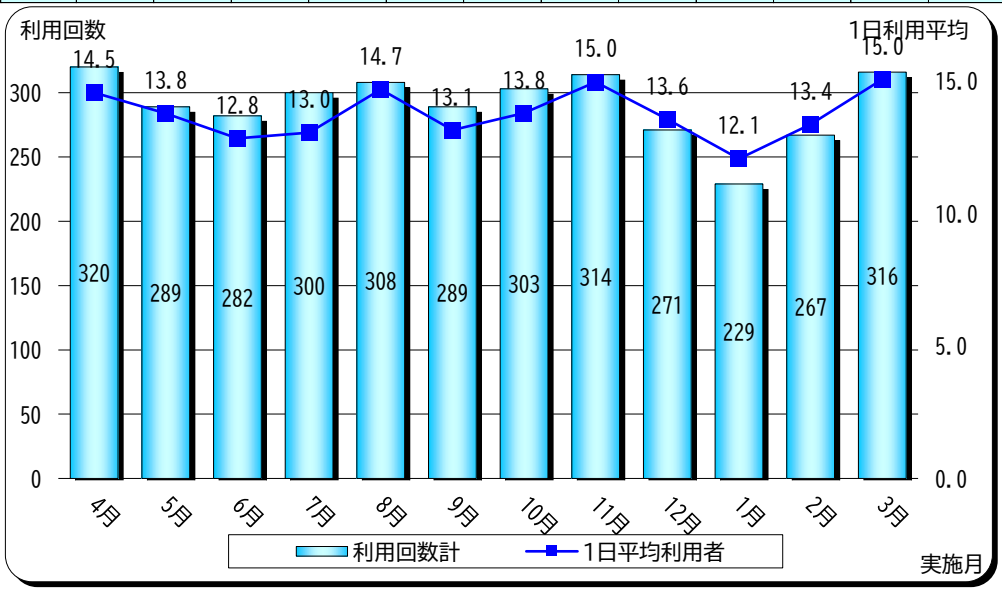
# デイサービスセンター事業(地域密着型通所介護・総合事業[独自A6])

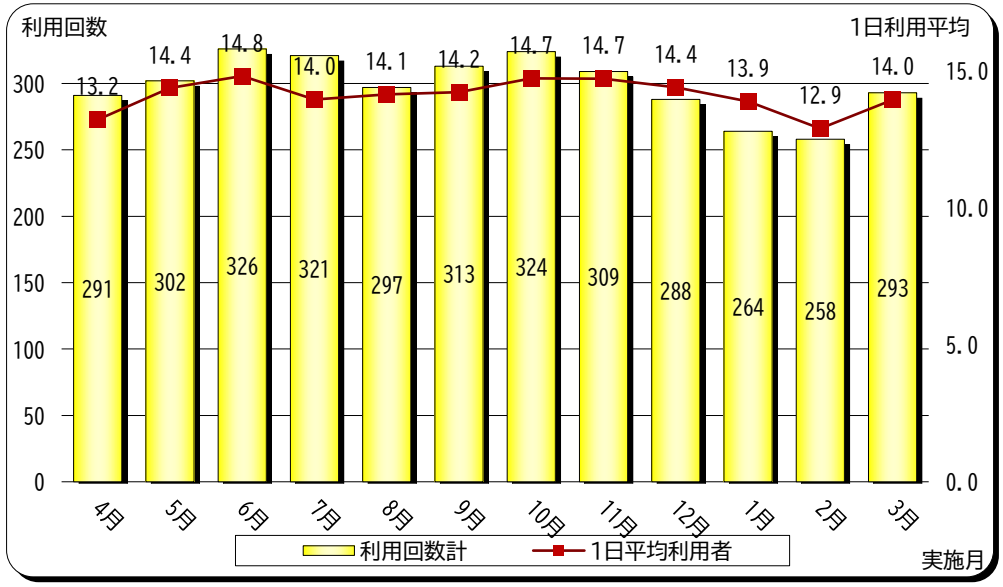
## 令和3年度

| | 総合事業通所型ｻｰﾋﾞｽ | | | 地域密着型通所介護 | | | | | 利用回数計 | 開設数 | 1日平均利用者 | 配食ｻｰﾋﾞｽ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 総合 | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | | | | |
| 4月 | 4 | 10 | 78 | 145 | 37 | 30 | 12 | 4 | 320 | 22 | 14.5 | 8 |
| 5月 | 4 | 8 | 58 | 133 | 42 | 27 | 13 | 4 | 289 | 21 | 13.8 | 8 |
| 6月 | 5 | 8 | 65 | 130 | 48 | 14 | 12 | 0 | 282 | 22 | 12.8 | 10 |
| 7月 | 4 | 10 | 71 | 141 | 49 | 12 | 13 | 0 | 300 | 23 | 13.0 | 9 |
| 8月 | 5 | 8 | 77 | 135 | 56 | 13 | 14 | 0 | 308 | 21 | 14.7 | 9 |
| 9月 | 0 | 8 | 69 | 116 | 72 | 13 | 11 | 0 | 289 | 22 | 13.1 | 11 |
| 10月 | 0 | 9 | 67 | 131 | 71 | 13 | 12 | 0 | 303 | 22 | 13.8 | 8 |
| 11月 | 0 | 8 | 70 | 133 | 71 | 18 | 14 | 0 | 314 | 21 | 15.0 | 9 |
| 12月 | 0 | 12 | 55 | 115 | 62 | 16 | 11 | 0 | 271 | 20 | 13.6 | 9 |
| 1月 | 0 | 12 | 47 | 94 | 52 | 13 | 11 | 0 | 229 | 19 | 12.1 | 8 |
| 2月 | 0 | 12 | 47 | 101 | 70 | 25 | 12 | 0 | 267 | 20 | 13.4 | 1 |
| 3月 | 0 | 13 | 48 | 125 | 93 | 24 | 13 | 0 | 316 | 21 | 15.0 | 1 |
| 合計 | 22 | 118 | 752 | 1,499 | 723 | 218 | 148 | 8 | 3,488 | 254 | 13.7 | 91 |
| 前年度比 | **17** | **64** | **188** | **-368** | **223** | **-347** | **117** | **8** | **-98** | **0** | **-0.4** | **0** |

## 令和2年度

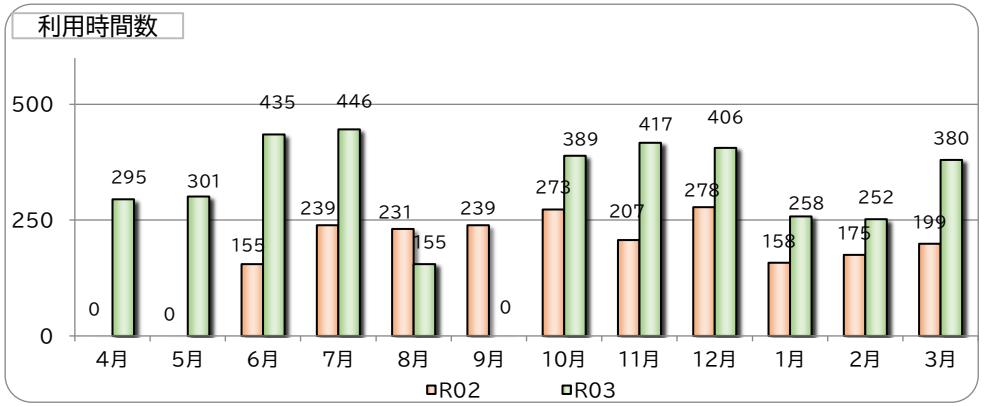
| | 総合事業通所型ｻｰﾋﾞｽ | | | 地域密着型通所介護 | | | | | 利用回数計 | 開設数 | 1日平均利用者 | 配食ｻｰﾋﾞｽ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 総合 | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | | | | |
| 4月 | 0 | 5 | 44 | 136 | 58 | 48 | 0 | 0 | 291 | 22 | 13.2 | 8 |
| 5月 | 0 | 4 | 41 | 154 | 42 | 61 | 0 | 0 | 302 | 21 | 14.4 | 8 |
| 6月 | 0 | 4 | 54 | 157 | 46 | 65 | 0 | 0 | 326 | 22 | 14.8 | 10 |
| 7月 | 0 | 5 | 48 | 169 | 44 | 54 | 1 | 0 | 321 | 23 | 14.0 | 9 |
| 8月 | 0 | 4 | 46 | 158 | 38 | 47 | 4 | 0 | 297 | 21 | 14.1 | 9 |
| 9月 | 0 | 3 | 49 | 178 | 34 | 49 | 0 | 0 | 313 | 22 | 14.2 | 11 |
| 10月 | 0 | 5 | 38 | 186 | 46 | 49 | 0 | 0 | 324 | 22 | 14.7 | 8 |
| 11月 | 0 | 4 | 59 | 155 | 39 | 49 | 3 | 0 | 309 | 21 | 14.7 | 9 |
| 12月 | 0 | 4 | 43 | 159 | 37 | 45 | 0 | 0 | 288 | 20 | 14.4 | 9 |
| 1月 | 0 | 4 | 34 | 141 | 41 | 44 | 0 | 0 | 264 | 19 | 13.9 | 8 |
| 2月 | 0 | 4 | 48 | 132 | 37 | 28 | 9 | 0 | 258 | 20 | 12.9 | 1 |
| 3月 | 5 | 8 | 60 | 142 | 38 | 26 | 14 | 0 | 293 | 21 | 14.0 | 1 |
| 合計 | 5 | 54 | 564 | 1,867 | 500 | 565 | 31 | 0 | 3,586 | 254 | 14.1 | 91 |



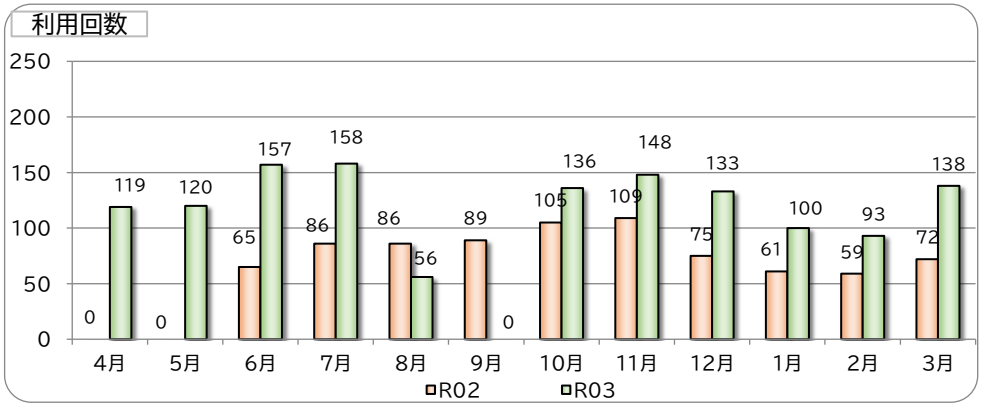
〔資料⑥〕

# 開成町福祉会館　　令和3年度　利用状況報告（前年度対比）



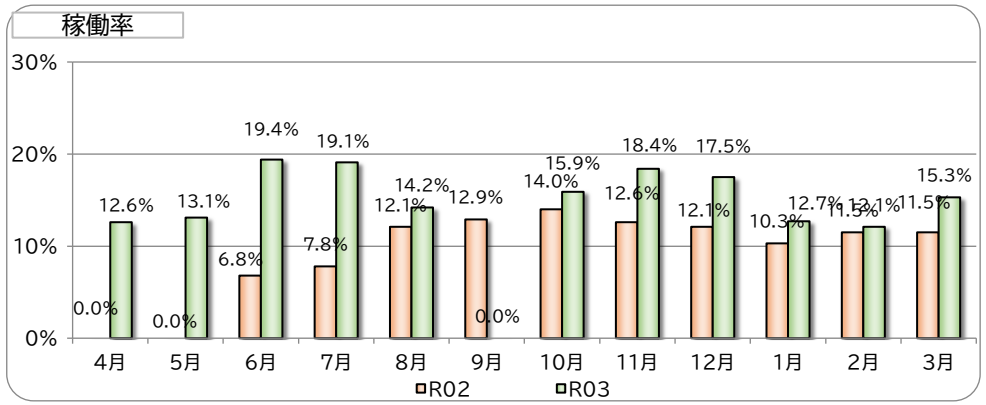

＊楽屋・控室・ボランティア室を含む。　　単位：時間

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 同期 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| R02 | 0 | 0 | 155 | 239 | 231 | 239 | 273 | 207 | 278 | 158 | 175 | 199 | 2,154 |
| R03 | 295 | 301 | 435 | 446 | 155 | 0 | 389 | 417 | 406 | 258 | 252 | 380 | 3,734 |
| 前年度比 | 295 | 301 | 280 | 207 | -76 | -239 | 116 | 210 | 128 | 100 | 77 | 181 | 1,580 |



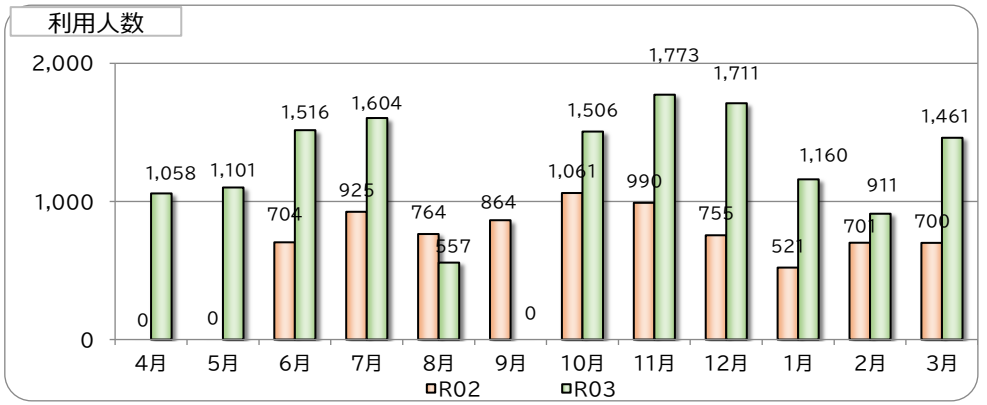

＊楽屋・控室・ボランティア室を含む。　　単位：回

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 同期 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| R02 | 0 | 0 | 65 | 86 | 86 | 89 | 105 | 109 | 75 | 61 | 59 | 72 | 807 |
| R03 | 119 | 120 | 157 | 158 | 56 | 0 | 136 | 148 | 133 | 100 | 93 | 138 | 1,358 |
| 前年度比 | 119 | 120 | 92 | 72 | -30 | -89 | 31 | 39 | 58 | 39 | 34 | 66 | 551 |




＊楽屋・控室・ボランティア室を除く。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 同期 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| R02 | 0.0% | 0.0% | 6.8% | 7.8% | 12.1% | 12.9% | 14.0% | 12.6% | 12.1% | 10.3% | 11.5% | 11.5% | 9.3% |
| R03 | 12.6% | 13.1% | 19.4% | 19.1% | 14.2% | 0.0% | 15.9% | 18.4% | 17.5% | 12.7% | 12.1% | 15.3% | 15.5% |
| 前年度比 | 12.5% | 13.1% | 12.6% | 11.3% | 2.2% | -12.8% | 1.9% | 5.8% | 5.4% | 2.4% | 0.6% | 3.8% | 6.2% |




＊楽屋・控室・ボランティア室を含む。　　単位：人

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 同期 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| R02 | 0 | 0 | 704 | 925 | 764 | 864 | 1,061 | 990 | 755 | 521 | 701 | 700 | 7,985 |
| R03 | 1,058 | 1,101 | 1,516 | 1,604 | 557 | 0 | 1,506 | 1,773 | 1,711 | 1,160 | 911 | 1,461 | 14,358 |
| 前年度比 | 1,058 | 1,101 | 812 | 679 | -207 | -864 | 445 | 783 | 956 | 639 | 210 | 761 | 6,373 |

# 法人単位資金収支計算書

(自)令和3年04月01日　(至)令和4年03月31日

法 人：社会福祉法人　開成町社会福祉協議会
事 業：法人全体



(単位：円)

| 勘定科目 | | | 予算(A) | 決算(B) | 差異(A-B) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業活動による収支 | 収入 | 会費収入 | 3,520,000 | 3,299,500 | 220,500 | |
| | | 寄附金収入 | 776,000 | 850,787 | △74,787 | |
| | | 補助金収入 | 33,199,000 | 33,090,000 | 109,000 | |
| | | 受託金収入 | 60,742,000 | 62,093,181 | △1,351,181 | |
| | | 事業収入 | 4,986,000 | 3,293,792 | 1,692,208 | |
| | | 共同募金配分金収入 | 1,685,000 | 1,698,060 | △13,060 | |
| | | 介護保険事業収入 | 46,566,000 | 37,942,478 | 8,623,522 | |
| | | 受取利息配当金収入 | 79,000 | 79,512 | △512 | |
| | | その他の収入 | 91,000 | 78,889 | 12,111 | |
| | | 事業活動収入計(1) | 151,644,000 | 142,426,199 | 9,217,801 | |
| | 支出 | 人件費支出 | 94,565,000 | 83,097,004 | 11,467,996 | |
| | | 事業費支出 | 28,134,756 | 22,924,933 | 5,209,823 | |
| | | 事務費支出 | 28,404,244 | 25,597,894 | 2,806,350 | |
| | | その他の支出 | 174,000 | 198,969 | △24,969 | |
| | | 事業活動支出計(2) | 151,278,000 | 131,818,800 | 19,459,200 | |
| | 事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2) | | 366,000 | 10,607,399 | △10,241,399 | |
| 施設整備等による収支 | 収入 | 固定資産売却収入 | 0 | 450,000 | △450,000 | |
| | | 施設整備等収入計(4) | 0 | 450,000 | △450,000 | |
| | 支出 | ﾌｧｲﾅﾝｽ・ﾘｰｽ債務の返済支出 | 700,000 | 699,600 | 400 | |
| | | 施設整備等支出計(5) | 700,000 | 699,600 | 400 | |
| | 施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5) | | △700,000 | △249,600 | △450,400 | |
| その他の活動による収支 | 収入 | 基金積立資産取崩収入 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 積立資産取崩収入 | 332,000 | 328,260 | 3,740 | |
| | | その他の活動収入計(7) | 332,000 | 328,260 | 3,740 | |
| | 支出 | 基金積立資産支出 | 1,696,000 | 2,222,636 | △526,636 | |
| | | 積立資産支出 | 3,908,000 | 4,043,600 | △135,600 | |
| | | その他の活動支出計(8) | 5,604,000 | 6,266,236 | △662,236 | |
| | その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8) | | △5,272,000 | △5,937,976 | 665,976 | |
| 予備費支出(10) | | | 2,610,000<br>△48,000 | - | 2,562,000 | |
| 当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10) | | | △8,168,000 | 4,419,823 | △12,587,823 | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 前期末支払資金残高(12) | 7,311,000 | 19,087,851 | △11,776,851 | |
| 当期末支払資金残高(11)+(12) | △857,000 | 23,507,674 | △24,364,674 | |

# 法人単位事業活動計算書

(自)令和3年04月01日　(至)令和4年03月31日

法 人：社会福祉法人　開成町社会福祉協議会
事 業：法人全体



(単位：円)

| 勘 定 科 目 | | | 当年度決算(A) | 前年度決算(B) | 増減(A)-(B) |
|---|---|---|---|---|---|
| サービス活動増減の部 | 収益 | 会費収益 | 3,299,500 | 3,369,000 | △69,500 |
| | | 寄附金収益 | 850,787 | 523,636 | 327,151 |
| | | 経常経費補助金収益 | 33,090,000 | 33,014,000 | 76,000 |
| | | 受託金収益 | 62,093,181 | 49,067,737 | 13,025,444 |
| | | 事業収益 | 3,293,792 | 9,799,687 | △6,505,895 |
| | | 共同募金配分金収益 | 1,698,060 | 1,857,779 | △159,719 |
| | | 介護保険事業収益 | 37,942,478 | 41,958,324 | △4,015,846 |
| | | サービス活動収益計(1) | 142,267,798 | 139,590,163 | 2,677,635 |
| | 費用 | 人件費 | 82,926,504 | 77,889,589 | 5,036,915 |
| | | 事業費 | 22,924,933 | 25,581,803 | △2,656,870 |
| | | 事務費 | 25,597,894 | 24,948,993 | 648,901 |
| | | 基金組入額 | 2,316,836 | 3,773,057 | △1,456,221 |
| | | 減価償却費 | 1,830,579 | 1,961,110 | △130,531 |
| | | 国庫補助金等特別積立金取崩額 | △468,837 | △253,736 | △215,101 |
| | | その他の費用 | 34,100 | 0 | 34,100 |
| | | サービス活動費用計(2) | 135,162,009 | 133,900,816 | 1,261,193 |
| | サービス活動増減差額(3)=(1)-(2) | | 7,105,789 | 5,689,347 | 1,416,442 |
| サービス活動外増減の部 | 収益 | 受取利息配当金収益 | 79,512 | 79,300 | 212 |
| | | 投資有価証券評価益 | 94,200 | 0 | 94,200 |
| | | その他のｻｰﾋﾞｽ活動外収益 | 78,889 | 56,430 | 22,459 |
| | | サービス活動外収益計(4) | 252,601 | 135,730 | 116,871 |
| | 費用 | その他のｻｰﾋﾞｽ活動外費用 | 164,869 | 0 | 164,869 |
| | | サービス活動外費用計(5) | 164,869 | 0 | 164,869 |
| | サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5) | | 87,732 | 135,730 | △47,998 |
| 経常増減差額(7)=(3)+(6) | | | 7,193,521 | 5,825,077 | 1,368,444 |
| 特別増減の部 | 収益 | 固定資産受贈額 | 0 | 1,811,350 | △1,811,350 |
| | | 固定資産売却益 | 450,000 | 0 | 450,000 |
| | | 特別収益計(8) | 450,000 | 1,811,350 | △1,361,350 |
| | 費用 | 固定資産売却損・処分損 | 1 | 0 | 1 |
| | | 国庫補助金等特別積立金積立額 | 0 | 1,811,350 | △1,811,350 |
| | | 特別費用計(9) | 1 | 1,811,350 | △1,811,349 |
| | 特別増減差額(10)=(8)-(9) | | 449,999 | 0 | 449,999 |
| 当期活動増減差額(11)=(7)+(10) | | | 7,643,520 | 5,825,077 | 1,818,443 |
| 繰越活動増減差額の部 | 前期繰越活動増減差額(12) | | 19,831,941 | 17,525,464 | 2,306,477 |
| | 当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12) | | 27,475,461 | 23,350,541 | 4,124,920 |
| | 基本金取崩額(14) | | 0 | 0 | 0 |
| | 基金取崩額(15) | | 0 | 0 | 0 |
| | その他の積立金取崩額(16) | | 157,760 | 0 | 157,760 |
| | その他の積立金積立額(17) | | 4,043,600 | 3,518,600 | 525,000 |
| | 次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17) | | 23,589,621 | 19,831,941 | 3,757,680 |

# 法人単位貸借対照表

令和4年03月31日現在

法 人：社会福祉法人　開成町社会福祉協議会
事 業：法人全体


（単位：円）

| 資産の部 | | | | 負債の部 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 当年度末 | 前年度末 | 増減 | | 当年度末 | 前年度末 | 増減 |
| 流動資産 | 30,831,849 | 28,472,739 | 2,359,110 | 流動負債 | 8,023,775 | 9,384,888 | △1,361,113 |
| 現金預金 | 21,223,140 | 19,497,130 | 1,726,010 | 事業未払金 | 5,292,185 | 5,713,051 | △420,866 |
| 事業未収金 | 8,700,869 | 0 | 8,700,869 | １年以内返済予定リース債務 | 699,600 | 0 | 699,600 |
| 未収金 | 0 | 8,009,963 | △8,009,963 | 未返還金 | 1,391,806 | 3,145,518 | △1,753,712 |
| 立替金 | 738,558 | 775,878 | △37,320 | 預り金 | 640,184 | 526,319 | 113,865 |
| 前払金 | 169,282 | 189,768 | △20,486 | | | | |
| 前払費用 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| 仮払金 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| 固定資産 | 161,291,180 | 152,735,584 | 8,555,596 | 固定負債 | 16,485,600 | 13,701,300 | 2,784,300 |
| 基本財産 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | リース債務 | 2,098,800 | 0 | 2,098,800 |
| 定期預金 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | 退職給付引当金 | 14,386,800 | 13,701,300 | 685,500 |
| その他の固定資産 | 160,291,180 | 151,735,584 | 8,555,596 | 負債の部合計 | 24,509,375 | 23,086,188 | 1,423,187 |
| 車輌運搬具 | 1,320,779 | 1,773,617 | △452,838 | 純資産の部 | | | |
| 器具及び備品 | 34,480 | 56,252 | △21,772 | 基本金 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 |
| 有形リース資産 | 2,798,400 | 0 | 2,798,400 | 基本金 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 |
| 権利 | 72,800 | 72,800 | 0 | 基金 | 72,539,454 | 70,222,618 | 2,316,836 |
| ソフトウェア | 0 | 656,370 | △656,370 | 福祉基金 | 72,539,454 | 70,222,618 | 2,316,836 |
| 投資有価証券 | 130,000,000 | 120,000,000 | 10,000,000 | 国庫補助金等特別積立金 | 1,346,112 | 1,814,949 | △468,837 |
| 退職給付引当資産 | 14,386,800 | 13,701,300 | 685,500 | その他の積立金 | 69,138,467 | 65,252,627 | 3,885,840 |
| 福祉基金積立資産 | 2,539,454 | 10,222,618 | △7,683,164 | 退職共済積立金 | 69,138,467 | 65,252,627 | 3,885,840 |
| 退職共済積立資産 | 9,138,467 | 5,252,627 | 3,885,840 | 次期繰越活動増減差額 | 23,589,621 | 19,831,941 | 3,757,680 |
| | | | | (うち当期活動増減差額) | 7,643,520 | 5,825,077 | 1,818,443 |
| | | | | 純資産の部合計 | 167,613,654 | 158,122,135 | 9,491,519 |
| 資産の部合計 | 192,123,029 | 181,208,323 | 10,914,706 | 負債及び純資産の部合計 | 192,123,029 | 181,208,323 | 10,914,706 |

# 財産目録

令和4年03月31日現在

別紙4

法　人：社会福祉法人　開成町社会福祉協議会
事　業：法人全体



（単位：円）

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 取得年度 | 使用目的等 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 貸借対照表価額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ 資産の部 | | | | | | |
| 1 流動資産 | | | | | | |
| 現金預金 | | － | | － | － | 21,223,140 |
| 現金 | | － | | － | － | 0 |
| 小口現金 | | － | | － | － | 45,000 |
| 預貯金 | | － | | － | － | 21,178,140 |
| 普通預金(一般)さが信開0062292 | | － | | － | － | 8,008,643 |
| 普通預金(会費)さが信開0115870 | | － | | － | － | 0 |
| 普通預金(会費)JAあし開2625288 | | － | | － | － | 0 |
| 普通預金(会費)中栄信開0030075 | | － | | － | － | 0 |
| 普通預金(基金)さが信開0097217 | | － | | － | － | 465,599 |
| 普通預金(退職)さが信開0123094 | | － | | － | － | 0 |
| 普通預金(会館)さが信開0114178 | | － | | － | － | 911,645 |
| 普通預金(通所)さが信開0139530 | | － | | － | － | 3,834,939 |
| 普通預金(ﾌｧｰﾑ)さが信開0364035 | | － | | － | － | 0 |
| 普通預金(会館)さが信開0389528 | | － | | － | － | 1,171,330 |
| 普通預金(居宅)さが信開0389641 | | － | | － | － | 3,050,743 |
| 普通預金(包括)さが信開0428005 | | － | | － | － | 3,735,241 |
| 事業未収金 | | － | | － | － | 8,700,869 |
| 未収金 | | － | | － | － | 0 |
| 立替金 | | － | | － | － | 738,558 |
| 前払金 | | － | | － | － | 169,282 |
| 前払費用 | | － | | － | － | 0 |
| 仮払金 | | － | | － | － | 0 |
| 流動資産合計 | | | | | | 30,831,849 |
| 2 固定資産 | | | | | | |
| (1) 基本財産 | | | | | | |
| 定期預金 | | － | | 0 | 0 | 1,000,000 |
| 定期預金(一般)さが信開0794311 | | － | | 0 | 0 | 1,000,000 |
| 基本財産合計 | | | | | | 1,000,000 |
| (2) その他の固定資産 | | | | | | |
| 車輌運搬具 | | － | | 0 | 0 | 1,320,779 |
| 器具及び備品 | | － | | 0 | 0 | 34,480 |
| 有形リース資産 | | － | | 0 | 0 | 2,798,400 |
| 権利 | | － | | 0 | 0 | 72,800 |
| ソフトウェア | | － | | 0 | 0 | 0 |
| 投資有価証券 | | － | | 0 | 0 | 130,000,000 |
| 投資有価証券(基金/千葉県債) | | － | | 0 | 0 | 0 |
| 投資有価証券(基金/大阪府公募公債) | | － | | 0 | 0 | 40,000,000 |

# 財産目録

令和4年03月31日現在

別紙4

法　人：社会福祉法人　開成町社会福祉協議会
事　業：法人全体



（単位：円）

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 取得年度 | 使用目的等 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 貸借対照表価額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 投資有価証券(退職/大阪府公募公債) | | — | | 0 | 0 | 40,000,000 |
| 投資有価証券(退職/鉄道運輸機構債) | | — | | 0 | 0 | 20,000,000 |
| 投資有価証券(基金/神奈川県公募公債) | | — | | 0 | 0 | 30,000,000 |
| 退職給付引当資産 | | — | | 0 | 0 | 14,386,800 |
| 福祉基金積立資産 | | — | | 0 | 0 | 2,539,454 |
| 福祉基金積立資産　No.0349990 | | — | | 0 | 0 | 2,539,454 |
| 福祉基金積立資産　No.0097217 | | — | | 0 | 0 | 0 |
| 退職共済積立資産 | | — | | 0 | 0 | 9,138,467 |
| 普通預金(退職)さが信開0385710 | | — | | 0 | 0 | 9,138,467 |
| その他の固定資産合計 | | | | | | 160,291,180 |
| 固定資産合計 | | | | | | 161,291,180 |
| 資産合計 | | | | | | 192,123,029 |
| Ⅱ 負債の部 | | | | | | |
| 1 流動負債 | | | | | | |
| 事業未払金 | | — | | — | — | 5,292,185 |
| １年以内返済予定リース債務 | | — | | — | — | 699,600 |
| 未返還金 | | — | | — | — | 1,391,806 |
| 預り金 | | — | | — | — | 640,184 |
| 預り金　所得税 | | — | | — | — | 0 |
| 預り金　住民税 | | — | | — | — | 0 |
| 預り金　社会保険 | | — | | — | — | 494,768 |
| 預り金　福利協会 | | — | | — | — | 0 |
| 預り金　共済会費 | | — | | — | — | 0 |
| 預り金　一般会費（世帯） | | — | | — | — | 0 |
| 預り金　一般会費（団体） | | — | | — | — | 0 |
| 預り金　賛助会費 | | — | | — | — | 0 |
| 預り金　福祉会館次年度利用料 | | — | | — | — | 145,416 |
| 預り金　その他 | | — | | — | — | 0 |
| 流動負債合計 | | | | | | 8,023,775 |
| 2 固定負債 | | | | | | |
| リース債務 | | — | | — | — | 2,098,800 |
| 退職給付引当金 | | — | | — | — | 14,386,800 |
| 固定負債合計 | | | | | | 16,485,600 |
| 負債合計 | | | | | | 24,509,375 |
| 差引純資産 | | | | | | 167,613,654 |

# 財産目録

令和4年03月31日現在

別紙4

法　人：社会福祉法人　開成町社会福祉協議会
事　業：法人全体



（単位：円）

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 取得年度 | 使用目的等 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 貸借対照表価額 |
|---|---|---|---|---|---|---|

(記載上の留意事項)
・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。
なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
・建物についてのみ「取得年度」欄を記載する。
・減価償却資産（有形固定資産に限る）については、「減価償却累計額」欄を記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
・車輌運搬具の○○には会社名と車種を記載すること。車輌番号は任意記載とする。
・預金に関する口座番号は任意記載とする。

# 財産目録明細表

令和4年3月31日現在

| 区分 | 相手方 | 金額（円） | 説明 |
|---|---|---|---|
| **事業未収金** | | | |
| 社会福祉事業 | | | |
| 相談支援・権利擁護部門 | | | |
| 地域包括支援センター事業 | 国保連 | 1,078,811 | 介護報酬 |
| 介護・生活支援サービス部門 | | | |
| 在宅福祉サービス事業 | 利用者（福祉機器） | 12,670 | 利用料　3月分 |
| | 同　（移送サービス） | 62,000 | 同 |
| | 同　（生活援助ヘルパー） | 28,560 | 同 |
| | 開成町 | 1,138,989 | コミュニティバス受託金（5期分） |
| 介護保険事業 | 国保連 | 1,441,190 | 居宅介護　介護報酬 |
| | 国保連・利用者 | 4,903,284 | 通所介護　介護報酬・利用料 |
| 法人経営部門 | | | |
| 法人マネジメント事業 | NTT | 27,087 | NTTファイナンス試用利用分 |
| | 本会　常勤職員 | 3,900 | 県社協支給旅費分 |
| 公益事業 | | | |
| 福祉会館管理運営 | | | |
| 福祉会館管理運営事業 | 取引業者 | 4,378 | 自販機販売手数料　3月分 |
| 計 | | 8,700,869 | |
| **立替金** | | | |
| 公益事業 | | | |
| 福祉会館管理運営 | | | |
| 福祉会館管理運営事業 | KOMNYれんげ | 76,658 | 電気料金　R3分1% |
| | 法人マネジメント事業他 | 661,900 | 消費税及び地方消費税　中間申告分 |
| 計 | | 738,558 | |
| **前払金** | | | |
| 社会福祉事業 | | | |
| 地域福祉活動推進部門 | | | |
| 生活支援体制整備事業 | 全社協（生活支援―） | 31,865 | 事業保険　R4分 |
| 相談支援・権利擁護部門 | | | |
| 権利擁護事業 | 全社協（日常生活―） | 11,710 | 事業保険　R4分 |
| 地域包括支援センター事業 | 同　（包括） | 42,450 | 同 |
| 介護・生活支援サービス部門 | | | |
| 在宅福祉サービス事業 | 全社協（移送サービス） | 36,110 | 事業保険　R4分 |
| | 同　（ヘルパー） | 5,997 | 同 |
| | 同　（バス） | 40,110 | 同 |
| 法人経営部門 | | | |
| 法人マネジメント事業 | 全社協（事務局運営） | 1,040 | 役員保険　R4分 |
| 計 | | 169,282 | |

| 区分 | 相手方 | 金額（円） | 説明 |
|---|---|---|---|

## 事業区分間貸付金

| | | | |
|---|---|---|---|
| 社会福祉事業 | | | |
| 法人経営部門 | | | |
| 法人マネジメント事業 | 福祉会館管理運営事業 | 3,074,000 | H30町返還（減免補填）分＋電気料金3月分貸付（未清算分） |
| 計 | | 3,074,000 | |

## 拠点区分間貸付金

| | | | |
|---|---|---|---|
| 社会福祉事業 | | | |
| 法人経営部門 | | | |
| 法人マネジメント事業 | 介護保険事業 | 8,195,000 | 通所介護事業　H28資金不足による退職積立からの貸付（未清算分） |
| 計 | | 8,195,000 | |

## 車輌運搬具

| | | | |
|---|---|---|---|
| 社会福祉事業 | | | |
| 法人経営部門 | | | |
| 法人マネジメント事業 | 軽貨物 | 1 | スズキ軽トラック（H17.08購入） |
| | 普通ワゴン | 1 | トヨタレジアス（H19.08購入） |
| | 軽自動車 | 1,320,777 | マツダフレアワゴン（R3.03寄贈） |
| 計 | | 1,320,779 | |

## 器具及び備品

| | | | |
|---|---|---|---|
| 社会福祉事業 | | | |
| 法人経営部門 | | | |
| 法人マネジメント事業 | 紙折機 | 34,478 | ドレスインNA150（H30.11購入） |
| | 液晶テレビ | 1 | 東芝37H8000（H21.07購入） |
| 介護・生活支援サービス部門 | | | |
| 介護保険事業 | 冷凍冷蔵庫 | 1 | SRR-G1261C2A（H22.06購入） |
| 計 | | 34,480 | |

## 有形リース資産

| | | | |
|---|---|---|---|
| 社会福祉事業 | | | |
| 法人経営部門 | | | |
| 法人マネジメント事業 | PCX9他リース | 2,798,400 | R3～　R4―7年度分 |
| 計 | | 2,798,400 | |

## 権利

| | | | |
|---|---|---|---|
| 社会福祉事業 | | | |
| 法人経営部門 | | | |
| 法人マネジメント事業 | NTT | 72,800 | 電話加入権（82-5222他） |
| 計 | | 72,800 | |

| 区分 | 相手方 | 金額（円） | 説明 |
|---|---|---|---|
| **投資有価証券** | | | |
| 社会福祉事業 | | | |
| 法人経営部門 | | | |
| 法人マネジメント事業 | 三菱UFJモルガンスタンレー証券 | 40,000,000 | 福祉基金（大阪府債） |
| | 同 | 40,000,000 | 退職積立（同　　） |
| | 大和証券 | 20,000,000 | 同　　（鉄道運輸機構債） |
| | 三菱UFJモルガンスタンレー証券 | 30,000,000 | 福祉基金（神奈川県債） |
| 計 | | 130,000,000 | |

| 区分 | 相手方 | 金額（円） | 説明 |
|---|---|---|---|

**事業未払金**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 社会福祉事業 | | | |
| 地域福祉活動推進部門 | | | |
| 生活支援体制整備事業 | 本会　常勤職員 | 4,795 | 時間外手当　3月分 |
| | 同　　非常勤職員 | 104,650 | 給与　3月分 |
| | 小田原年金事務所 | 16,475 | 社会保険料　3月事業主負担分 |
| 相談支援・権利擁護部門 | | | |
| 相談・支援事業 | 神奈川県弁護士会他 | 99,440 | 弁護士派遣費用他　1～3月分 |
| 権利擁護事業 | 本会　非常勤職員 | 15,600 | 給与　3月分 |
| | 取引業者 | 84 | 料金後納郵便　3月分 |
| 地域包括支援センター事業 | 本会　常勤職員 | 15,526 | 時間外手当　3月分 |
| | 同　　非常勤職員 | 255,938 | 給与　3月分 |
| | 小田原年金事務所 | 150,015 | 社会保険料　3月事業主負担分 |
| | 取引業者 | 16,850 | NTT　3月分他 |
| 介護・生活支援サービス部門 | | | |
| 在宅福祉サービス事業 | 本会　常勤職員 | 1,819 | 時間外手当　3月分 |
| | 同　　サポーター | 481,920 | 業務手当　3月分 |
| | 小田原年金事務所 | 6,712 | 社会保険料　3月事業主負担分 |
| | 取引業者 | 163,066 | ガソリン代　3月分他 |
| 介護保険事業 | 本会　常勤職員 | 5,309 | 居宅介護　時間外手当　3月分 |
| | 同　　非常勤職員 | 222,575 | 同　　給与　3月分 |
| | 小田原年金事務所 | 63,147 | 社会保険料　3月事業主負担分 |
| | 取引業者 | 8,690 | 同　　NTT　3月分他 |
| | 本会　常勤職員 | 9,388 | 通所介護　時間外手当　3月分 |
| | 同　　非常勤職員 | 1,155,095 | 同　　給与　3月分 |
| | 小田原年金事務所 | 101,894 | 社会保険料　3月事業主負担分 |
| | 取引業者 | 329,248 | 同　　NTT　3月分他 |
| 法人経営部門 | | | |
| 法人マネジメント事業 | 本会　常勤職員 | 20,103 | 時間外手当　3月分 |
| | 小田原年金事務所 | 192,091 | 社会保険料　3月事業主負担分 |
| | 取引業者 | 66,683 | NTT　3月分他 |
| 広報啓発事業 | 同 | 11,922 | 料金後納郵便　3月分 |
| 公益事業 | | | |
| 福祉会館管理運営 | | | |
| 福祉会館管理運営事業 | 本会　常勤職員 | 5,457 | 時間外手当　3月分 |
| | 小田原年金事務所 | 20,137 | 社会保険料　3月事業主負担分 |
| | 取引業者 | 1,747,556 | NTT　3月分他 |
| 計 | | 5,292,185 | |

**1年以内返済予定リース債務**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 社会福祉事業 | | | |
| 法人経営部門 | | | |
| 法人マネジメント事業 | PCX9他リース | 699,600 | R3～　R4年度分 |
| 計 | | 699,600 | |

| 区分 | 相手方 | 金額（円） | 説明 |
|---|---|---|---|
| **未返還金** | | | |
| 社会福祉事業 | | | |
| 地域福祉活動推進部門 | | | |
| 生活支援体制整備事業 | 開成町 | 108,800 | 生活支援体制整備事業受託金 |
| 当事者活動支援事業 | 同 | 109,000 | 地域福祉推進事業補助金 |
| 相談支援・権利擁護部門 | | | |
| 地域包括支援センター事業 | 同 | 1,174,006 | 地域包括支援センター事業受託金 |
| 計 | | 1,391,806 | |
| **事業区分間借入金** | | | |
| 公益事業 | | | |
| 福祉会館管理運営 | | | |
| 福祉会館管理運営事業 | 法人マネジメント事業 | 3,074,000 | H30町返還（減免補填）分＋電気料金3月分借入（未清算分） |
| 計 | | 3,074,000 | |
| **拠点区分間借入金** | | | |
| 社会福祉事業 | | | |
| 介護・生活支援サービス部門 | | | |
| 介護保険事業 | 法人マネジメント事業 | 8,195,000 | 通所介護事業　H28資金不足による退職積立からの借入（未清算分） |
| 計 | | 8,195,000 | |
| **リース債務** | | | |
| 社会福祉事業 | | | |
| 法人経営部門 | | | |
| 法人マネジメント事業 | PCX9他リース | 2,098,800 | R3～　R5―7年度分 |
| 計 | | 2,098,800 | |

# 計算書類に対する注記(法人全体用)

1. 継続事業の前提に関する注記
該当なし

2. 重要な会計方針
(1)貯蔵品の評価方法　総平均原価法
(2)有価証券の評価方法　移動平均法
(3)退職給与引当金の計上基準　神奈川県福利協会加入し、退職給与引当金を計上
(4)固定資産の減価償却の方法
＊車輌運搬具・器具及び備品　定額法
＊ファイナンス・リース取引に係るリース資産　リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

3. 重要な会計方針の変更
該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度
「神奈川県市町村職員退職手当組合退職手当支給条例」の規定割合により得た額を基準とする。

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分
当法人の作成する財務諸表は以下のとおりになっている。
(1)法人全体の財務諸表(第1号の1様式、第2号の１様式、第3号の1様式)
(2)事業区分別内訳表(第1号の2様式、第2号の2様式、第3号の2様式)
(3)財産目録
当法人の作成する財務諸表は以下のとおりになっている。
(1)法人全体の財務諸表(第1号の1様式、第2号の１様式、第3号の1様式)
(2)事業区分別内訳表(第1号の2様式、第2号の2様式、第3号の2様式)
(3)社会福祉事業における拠点区分別内訳表(第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式)
(4)公益事業における拠点区分別内訳表(第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式)
(5)各拠点区分におけるサービス区分の内容
地域福祉活動推進部門（社会福祉事業）
自治会福祉活動支援事業
生活支援体制整備事業
ボランティアセンター事業
当事者活動支援事業
福祉教育事業
相談支援・権利擁護部門（社会福祉事業）
相談・支援事業
権利擁護事業
地域包括支援センター事業
介護・生活支援サービス部門（社会福祉事業）
在宅福祉サービス事業
介護保険事業
法人経営部門（社会福祉事業）
法人マネジメント事業
広報啓発事業
福祉会館管理運営（公益事業）
福祉会館管理運営事業

6. 基本財産の増減の内容及び金額
該当なし

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し
該当なし

8. 担保に供している資産
該当なし

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。　(単位:円)

| | 取得価額 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|---|---|---|---|
| 車輌運搬具 | 5,729,150 | 4,408,371 | 1,320,779 |
| 器具及び備品 | 767,844 | 733,364 | 34,480 |
| 有形リース資産 | 3,498,000 | 699,600 | 2,798,400 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 合　　計 | 9,994,994 | 5,841,335 | 4,153,659 |

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
該当なし

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位:円)

| 種類及び銘柄 | 帳簿価額 | 時価 | 評価損益 |
|---|---|---|---|
| 有価証券（基金／R01大阪府債） | 40,000,000 | 40,000,000 | 0 |
| 同　　（退職／R01大阪府債） | 40,000,000 | 40,000,000 | 0 |
| 同　　（退職／R02鉄道運輸機構債） | 20,000,000 | 20,000,000 | 0 |
| 同　　（基金／R03神奈川県債） | 30,000,000 | 30,000,000 | 0 |
| 合　　計 | 130,000,000 | 130,000,000 | 0 |

12. 関連当事者との取引の内容
該当なし

13. 重要な偶発債務
該当なし

14. 重要な後発事象
該当なし

15. 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け
該当なし

16. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

# 監査報告書

令和４年５月９日

社会福祉法人　開成町社会福祉協議会
会　長　　菊　川　敬　人　　様

社会福祉法人　開成町社会福祉協議会

監　事　藤井　宏
監　事　中野　実
監　事　藤原幸枝

私たち監事は、令和３年４月１日から令和４年３月31日までの令和３年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

①　事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

②　理事の職務の遂行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上